

1. 全数調査

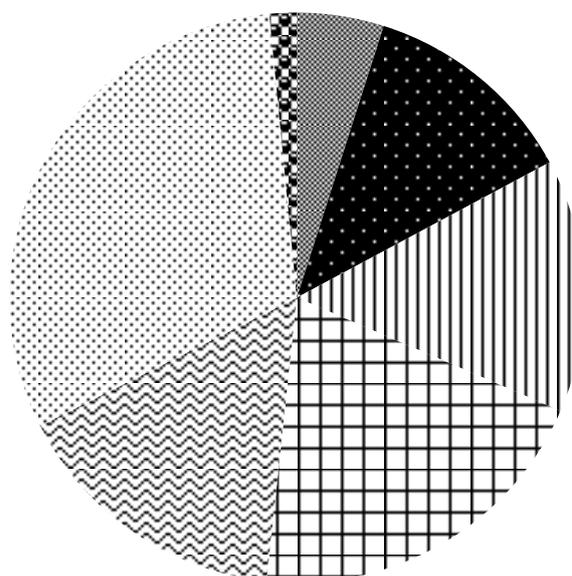
1) 回答者の属性

①世帯主の属性

世帯主の約3割が65歳以上となっている。

職業では会社員・団体職員（30.0%）が最多、次いで無職（26.6%）公務員（12.2%）となっており、世帯主のほとんどが公務員と会社員・団体職員、高齢者が無職となっている。

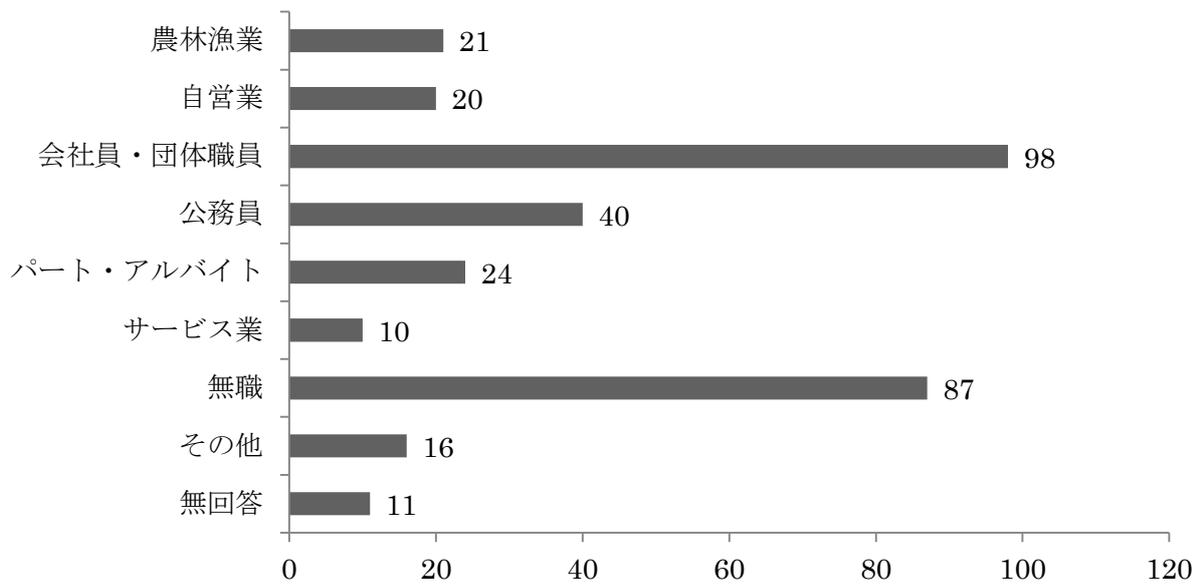
(問1) 年齢	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	16	4.9%
30～39歳	40	12.2%
40～49歳	47	14.4%
50～59歳	66	20.2%
60～64歳	52	15.9%
65歳以上	101	30.9%
無回答	5	1.5%
合計	327	100.0%



■20歳未満 ■20～29歳 ■30～39歳 □40～49歳

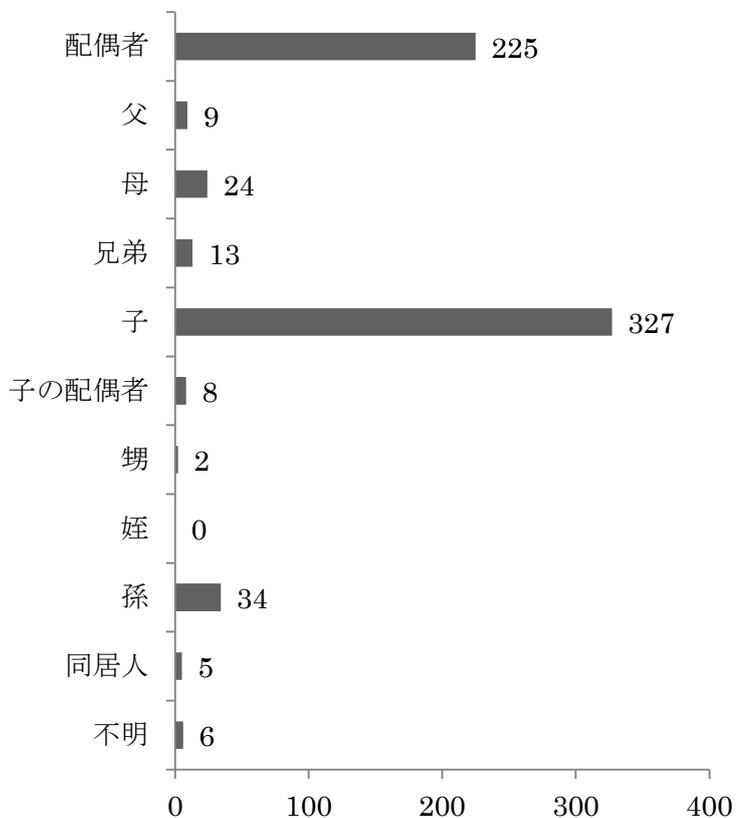
□50～59歳 □60～64歳 □65歳以上 ■無回答

(問2) 職業	件数	割合
農林漁業	21	6.4%
自営業	20	6.1%
会社員・団体職員	98	30.0%
公務員	40	12.2%
パート・アルバイト	24	7.3%
サービス業	10	3.1%
無職	87	26.6%
その他	16	4.9%
無回答	11	3.4%
合計	327	100.0%



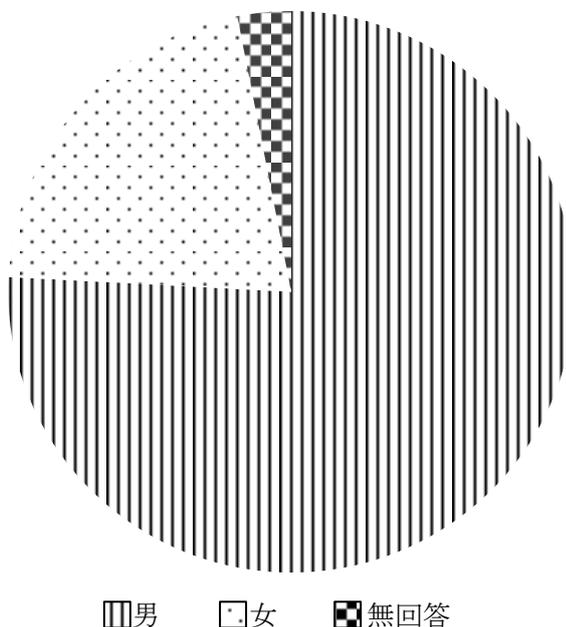
回答者との続柄において子（50.1%）が最多、次いで配偶者（34.5%）、孫（5.2%）となっており、三世代家族が少ないのが伺える。

(問3) 続柄	件数	割合
配偶者	225	34.5%
父	9	1.4%
母	24	3.7%
兄弟	13	2.0%
子	327	50.1%
子の配偶者	8	1.2%
甥	2	0.3%
姪	0	0.0%
孫	34	5.2%
同居人	5	0.8%
不明	6	0.9%
合計	653	100.0%



世帯主の性別では、男性が75.8%、女性が21.1%となっている。

(問3) 性別	件数	割合
男	248	75.8%
女	69	21.1%
無回答	10	3.1%
合計	327	100.0%

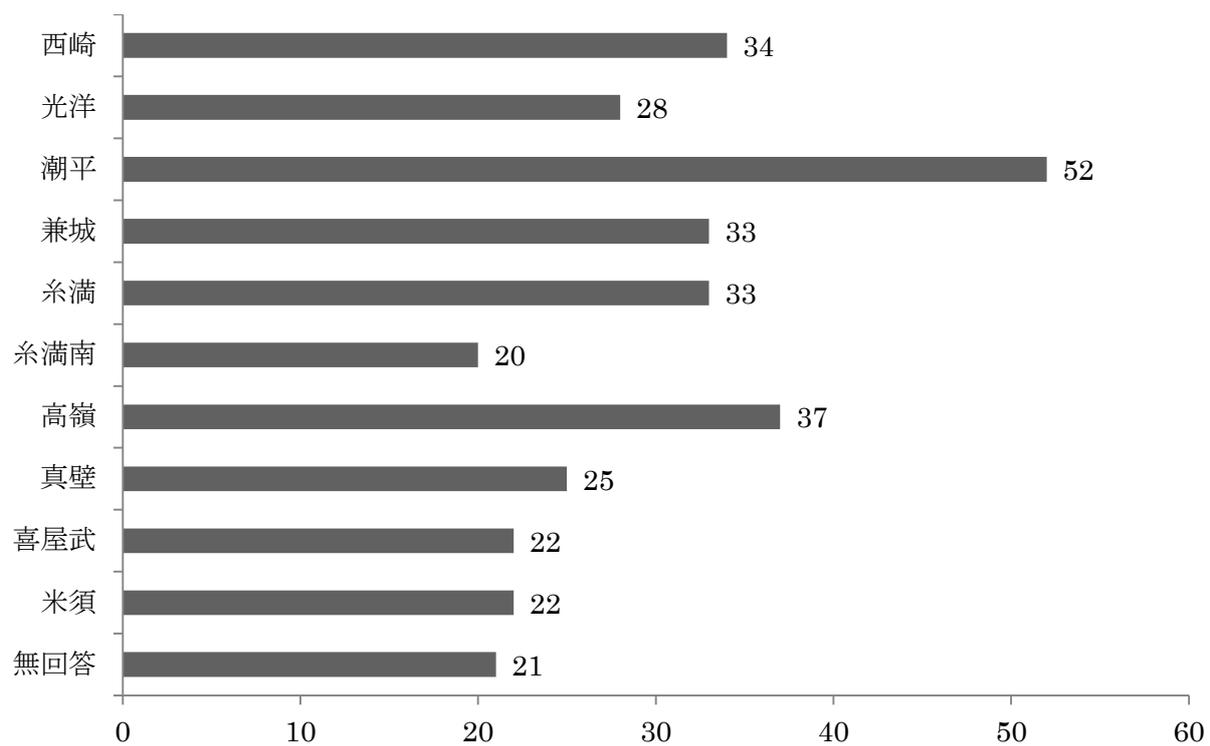


②現在住まいの小学校区

潮平小学校区(15.9%)が最多で、次いで高嶺(11.3%)、西崎(10.4%)、兼城(10.1%)、糸満(10.1%)小学校区となっている。

国道沿いに商業施設がある小学校区に住んでいる世帯主が多く、三和地区に該当する小学校区では少ない。

(問4) 小学校区	件数	割合
西崎	34	10.4%
光洋	28	8.6%
潮平	52	15.9%
兼城	33	10.1%
糸満	33	10.1%
糸満南	20	6.1%
高嶺	37	11.3%
真壁	25	7.6%
喜屋武	22	6.7%
米須	22	6.7%
無回答	21	6.4%
合計	327	100.0%



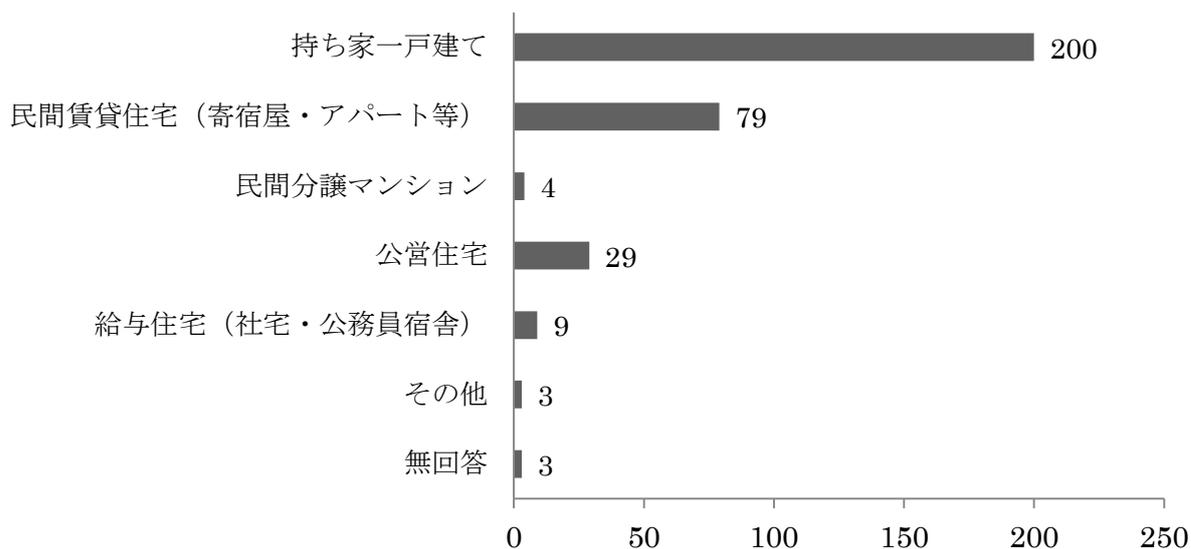
2) 居住環境

①世帯主の住宅と入居年数

「持ち家一戸建て（61.2%）」が最多、次いで「民間賃貸住宅（24.2%）」、「公営住宅（8.9%）」となっている。入居年数は「5年未満（29.4%）」が多く、次いで「30年以上（20.2%）」、「10年以上20年未満（19.6%）」、「20年以上30年未満（16.2%）」になっている。

入居5年未満は、新築住宅か引越してきたばかりの世帯だと思われる、また世帯主の年齢が高くなるにつれ長く住んでいる。

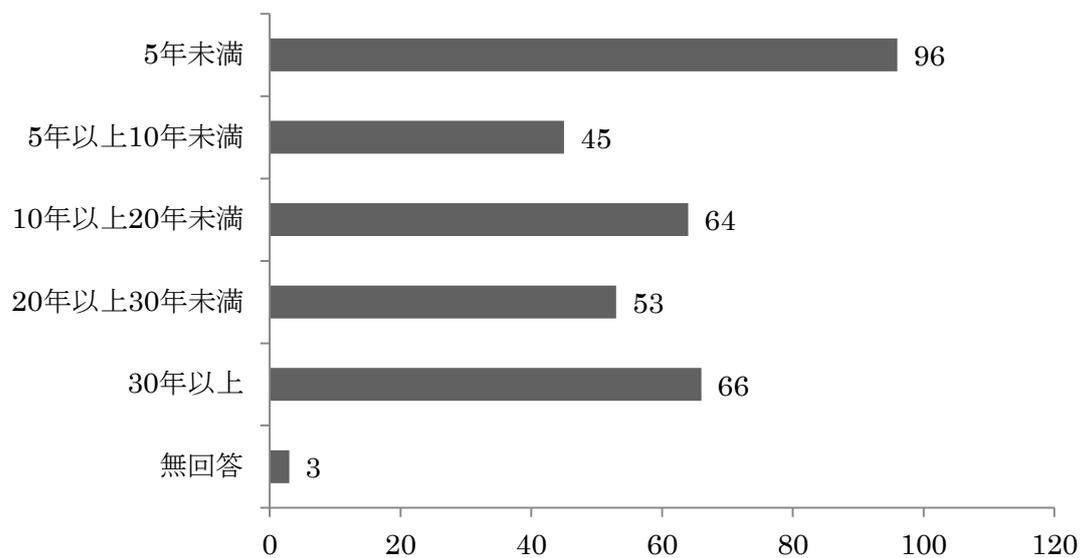
(問5) 住んでいる住宅	件数	割合
持ち家一戸建て	200	61.2%
民間賃貸住宅（寄宿屋・アパート等）	79	24.2%
民間分譲マンション	4	1.2%
公営住宅	29	8.9%
給与住宅（社宅・公務員宿舎）	9	2.8%
その他	3	0.9%
無回答	3	0.9%
合計	327	100.0%



【その他内訳】

- | | |
|--------|---------|
| ・市営住宅 | ・雇用促進住宅 |
| ・3世帯住宅 | ・おじの名義の |

(問6) 入居年数	件数	割合
5年未満	96	29.4%
5年以上10年未満	45	13.8%
10年以上20年未満	64	19.6%
20年以上30年未満	53	16.2%
30年以上	66	20.2%
無回答	3	0.9%
合計	327	100.0%

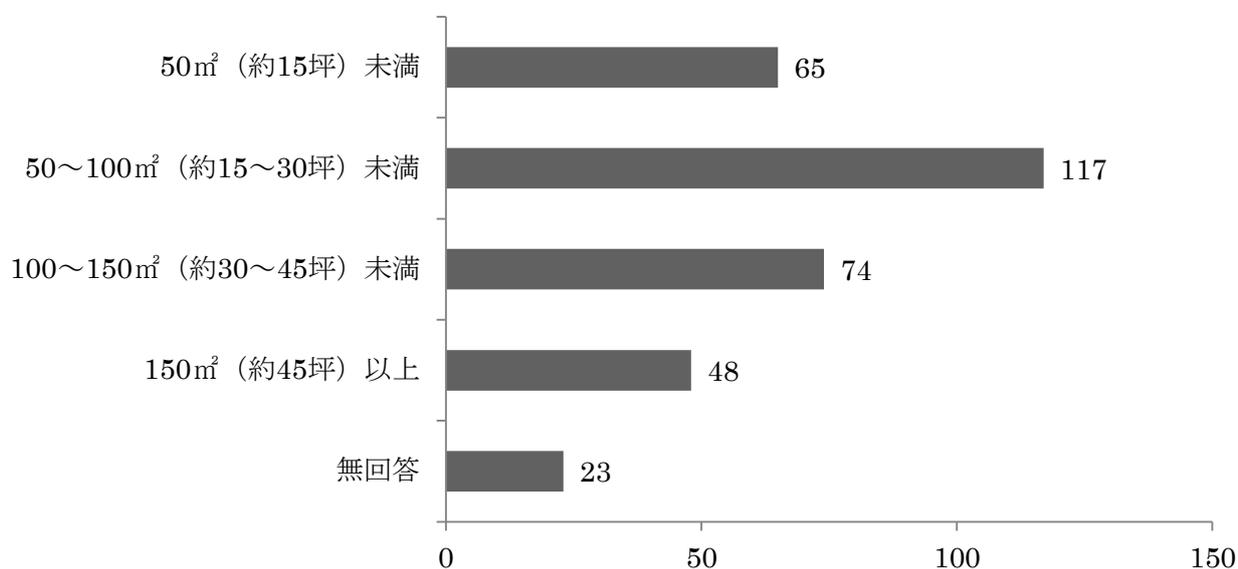


②住まいの住宅の広さと住宅の不満

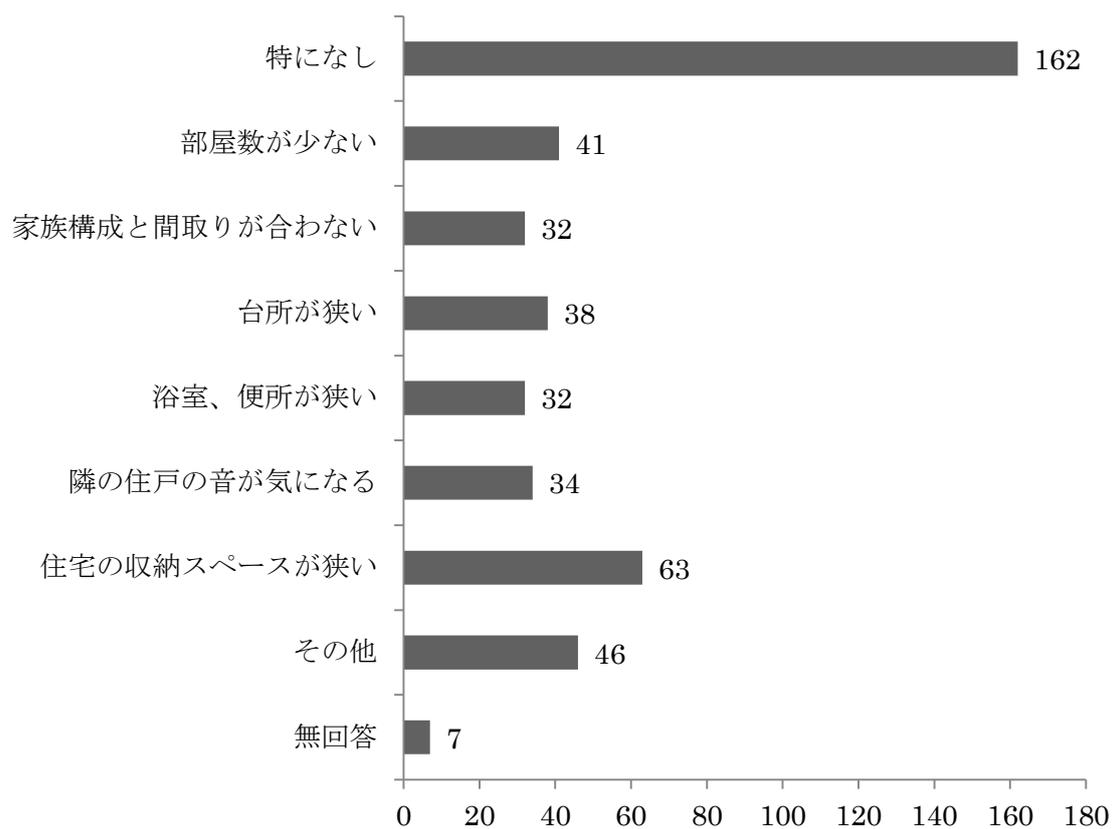
「15～30坪未満(35.8%)」が最も多く、次いで「30～45坪未満(22.6%)」、「15坪未満(19.9%)」となった。また、住宅の不満については、「特になし(35.6%)」が最多で、次いで「住宅の収納スペースが狭い(13.8%)」、「その他(10.1%)」となっている。

多くの世帯が現在の住まいに不満をもっていないと伺えるが、部屋数、間取り、浴室・便所・収納スペースが狭い等、子どもの成長に合わせて変化してくる生活スタイルの影響が伺える。また「その他」では老朽に関する意見が目立った。

(問7) 住宅の広さ	件数	割合
50㎡(約15坪) 未満	65	19.9%
50～100㎡(約15～30坪) 未満	117	35.8%
100～150㎡(約30～45坪) 未満	74	22.6%
150㎡(約45坪) 以上	48	14.7%
無回答	23	7.0%
合計	327	100.0%



(問8) 住宅についての不満	件数	割合
特になし	162	35.6%
部屋数が少ない	41	9.0%
家族構成と間取りが合わない	32	7.0%
台所が狭い	38	8.4%
浴室、便所が狭い	32	7.0%
隣の住戸の音が気になる	34	7.5%
住宅の収納スペースが狭い	63	13.8%
その他	46	10.1%
無回答	7	1.5%
合計	455	100.0%



【その他内訳】

＜老朽化に関する不満＞

- ・建物が老朽化し建替えの必要がある
- ・古くなって色々な所にかたがきている
- ・上の住戸から水もれ
- ・排水が悪い
- ・段差が多いサッシやドアが閉まりにくい
- ・古くなってリフォームが必要、水漏れなどがある
- ・老朽化が激しい
- ・修繕が必要な箇所がある
- ・リフォームが必要になってくる
- ・古い為、台風の時サッシから雨が吹き込む
- ・老朽化

＜住居環境に関する不満＞

- ・資材置き場のタンクカーの音
- ・夜間、早朝に民間機がうるさい
- ・商業地区が遠い
- ・近所空地からネズミ、虫類が家に近づく
- ・海のそばで津波が心配
- ・隣近所のまとまりがない
- ・接している道路上に犬の糞が放置され不衛生
- ・近隣で野焼きが多い
- ・タバコ臭い（隣人）

＜敷地に関する不満＞

- ・駐車場がせまい
- ・駐車スペースが無い
- ・車庫が小さい
- ・駐輪場がない
- ・エレベーターがない
- ・上の階の足音が気になる
- ・土地が狭い

＜部屋に関する不満＞

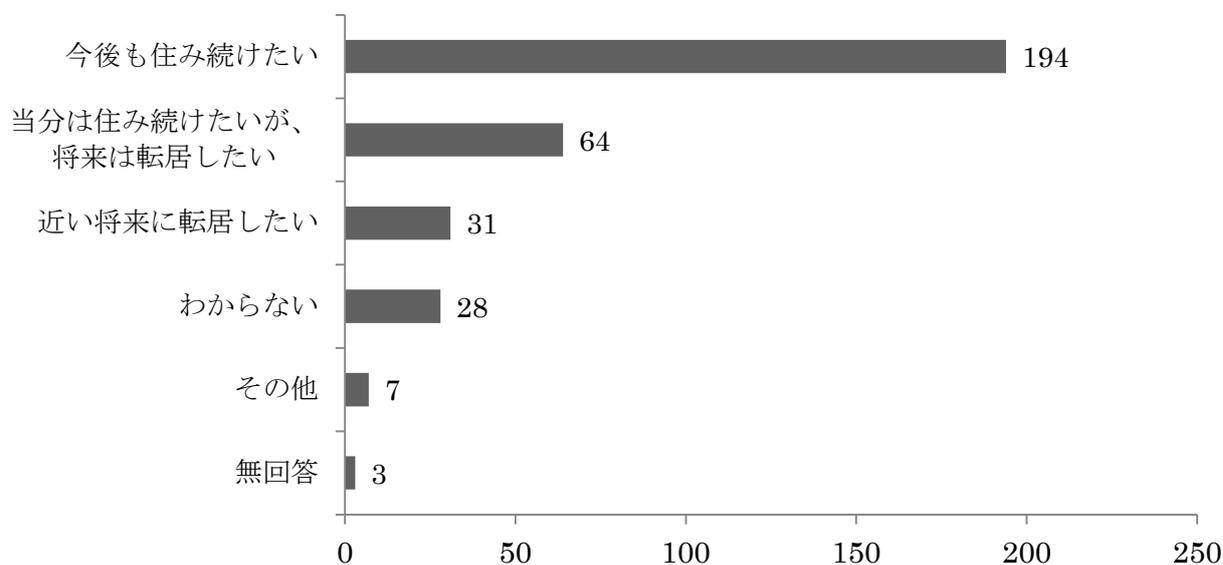
- ・リビングが狭い
- ・暑い
- ・湿気が多い
- ・日射時間が少ない空がみえない
- ・コンセントが少ない
- ・階段の上り下りがきつい
- ・家賃が高い

③現在の住宅と転居

「今後も住み続けたい（59.3%）」が最多で「当分は住み続けたいが、将来は転居したい（19.6%）」、「近い将来に転居したい（9.5%）」となった。

転居理由としては介護やバリアフリー、教育環境に関することが多い。また、「その他」の意見では持ち家に関する事や街の環境や治安、目的地までのアクセスについての意見が目立った。

(問9) 今後について	件数	割合
今後も住み続けたい	194	59.3%
当分は住み続けたいが、 将来は転居したい	64	19.6%
近い将来に転居したい	31	9.5%
わからない	28	8.6%
その他	7	2.1%
無回答	3	0.9%
合計	327	100.0%



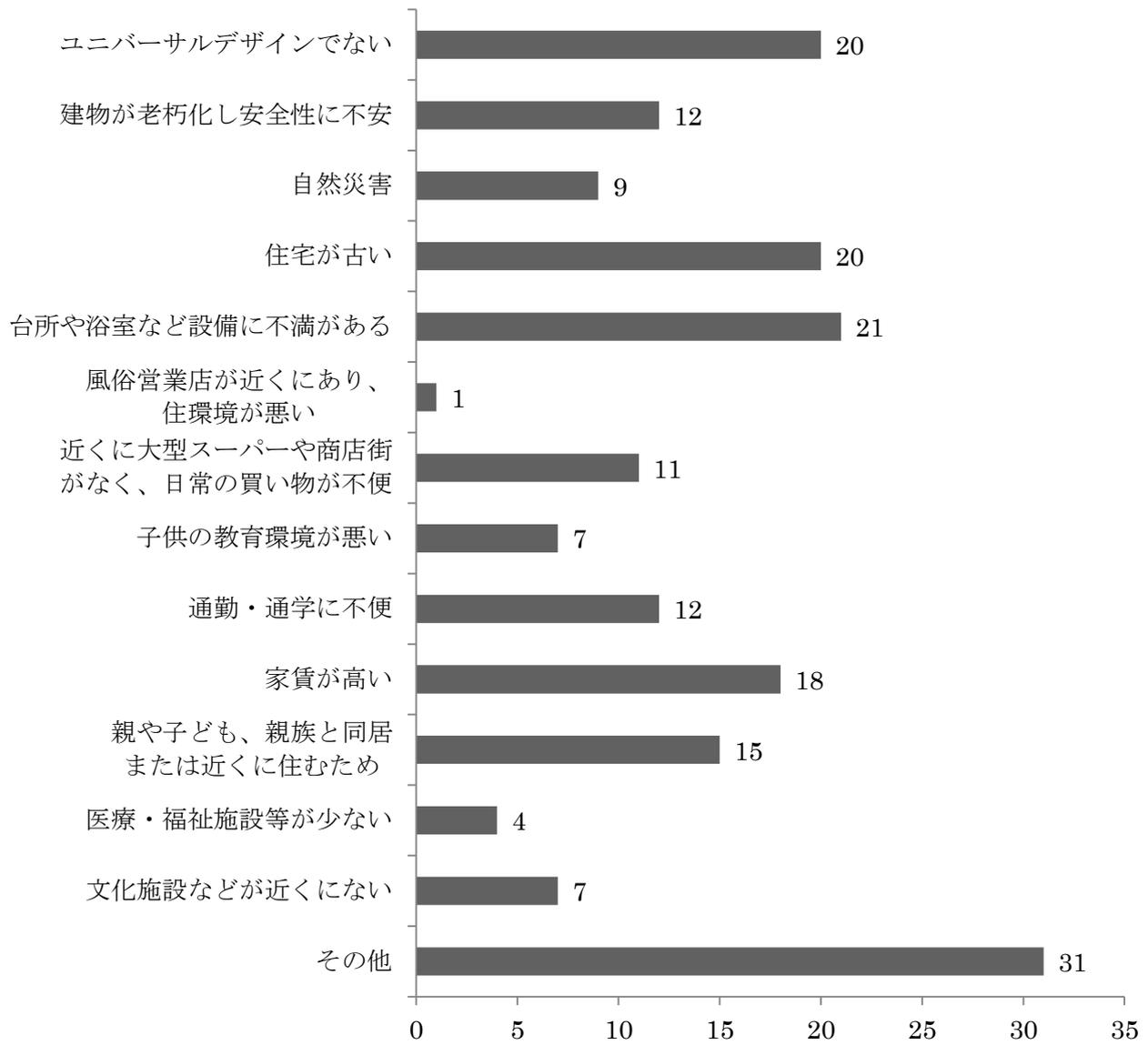
【その他内訳】

- ・海外移住の為転移予定
- ・移りたいけど無理かな？
- ・単身赴任のため
- ・転勤
- ・転勤がいずれあるのでそれまでは
- ・自分達が他界したら子供が建て直す
- ・転勤により他県へ

(問10) 転居を希望する理由	件数	割合
ユニバーサルデザインでない (玄関の段差・部屋の間取りなど、使い勝手が悪い)	20	10.6%
建物が老朽化し安全性に不安	12	6.4%
自然災害(台風、大雨時の土砂崩れ等)への不安	9	4.8%
住宅が古い	20	10.6%
台所や浴室など設備に不満がある	21	11.2%
風俗営業店が近くにあり、住環境が悪い (パチンコ、ゲームセンター、酒場等)	1	0.5%
近くに大型スーパーや商店街がなく、日常の買い物が不便	11	5.9%
子供の教育環境が悪い(保育園、幼稚園、小中学校が近くにない)	7	3.7%
通勤・通学に不便(最寄りのバス停まで遠い、バスの本数が少ない)	12	6.4%
家賃が高い	18	9.6%
親や子ども、親族と同居または近くに住むため	15	8.0%
医療・福祉施設等が少ない	4	2.1%
文化施設などが近くにない	7	3.7%
その他	31	16.5%
合計	188	100.0%

【その他内訳】

<p>＜住宅に関する理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持家を持つつもり ・持家一戸建購入したい ・持家を持ちたい ・持家が欲しい ・持家を購入したい ・持家一戸建て建築 ・店舗は住宅を購入したいと考えている ・庭がない ・景色の良い所に住みたい ・高齢により家の維持管理が難しくなるため 	<p>＜人間関係に関する理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢になると、入院・老人施設の保証人が必要になる為→本州の子供の所に行きます ・近隣住民とのトラブル ・親と別に暮らしていく、自立を検討 ・同居人と別々で暮らす予定の為 ・転勤にともなって今の住居に引っ越してきたが、将来は実家の近くに住みたい
<p>＜住環境に関する理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸満市だから那覇市が遠い ・道路がせまく住宅へのアクセスが不便 ・学校が遠いので、学校の近くに転居を考えている ・交通量が多く家のほこりも多く、騒音等で、転居希望 ・街が汚い。公園や道路にゴミ市民の公共モラルも低く途上国に感じる 	<p>＜個人に関する理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転勤 ・転勤族で両親が近くないため ・糸満市行政サービスは不安 ・雇用促進住宅廃止のため
	<p>＜住宅構造に関する理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防音性に不安 ・雨戸の開閉悪い ・段差が大きい為年配者には使いづらい ・駐車スペース不足、家族人数に対して狭い

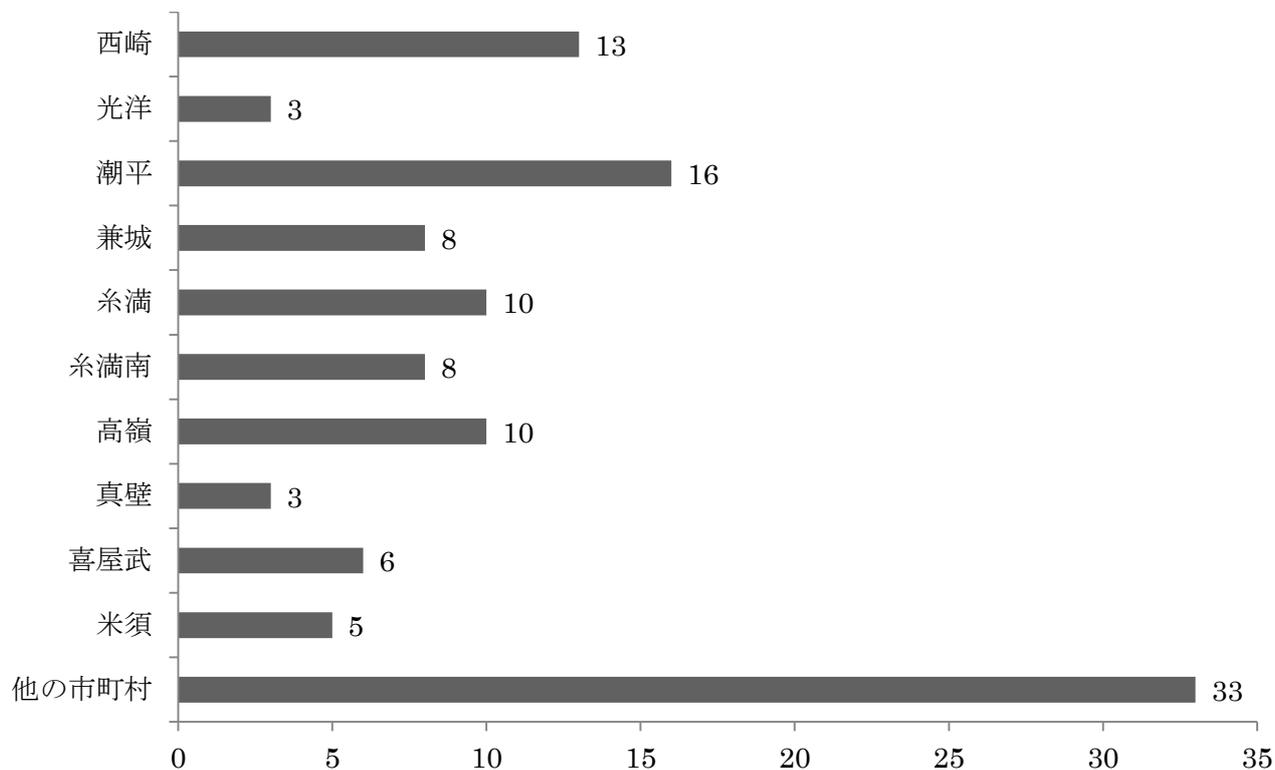


④転居希望先

希望転居先には「他の市町村（28.7%）」が最多。市外にある商業施設の利用や那覇市、豊見城市へのアクセス等のしやすさから伺われる。

市内の転居希望先では、国道沿いに商業施設がある小学校区への希望が多く、逆に商業施設が少ない地域への転居希望数は少ない。

(問11) 小学校区	件数	割合
西崎	13	11.3%
光洋	3	2.6%
潮平	16	13.9%
兼城	8	7.0%
糸満	10	8.7%
糸満南	8	7.0%
高嶺	10	8.7%
真壁	3	2.6%
喜屋武	6	5.2%
米須	5	4.3%
他の市町村	33	28.7%
合計	115	100.0%



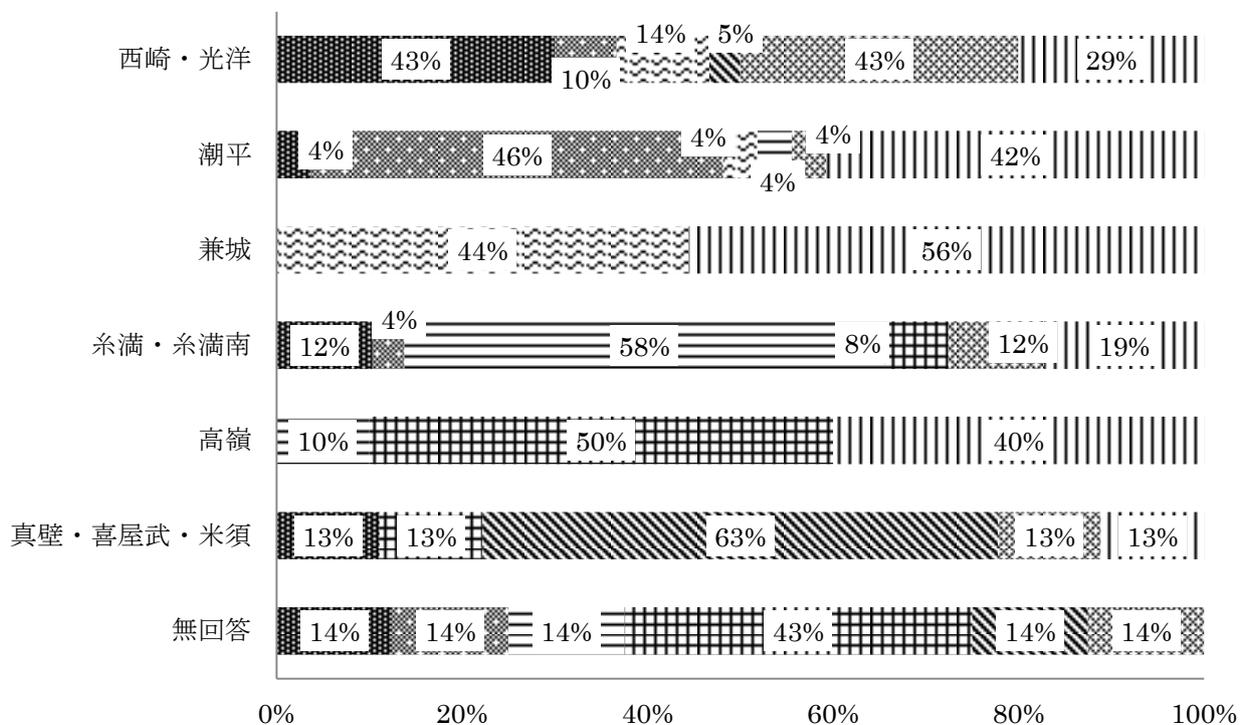
⑤現在、回答者が住んでいる小学校区と希望する転居先

各小学校区に住んでいる世帯主が希望する転居先は「他の市町村」が最多、次いで「糸満・糸満南小学校区」「西崎・光洋小学校区」「潮平小学校区」となっている。

現在、各小学校区に住んでいる世帯主が希望する転居先は、5割が同区内を希望し「他の市町村」を希望する世帯は約3割となっている。

転勤等の社会的要因やライフスタイルの変化等で市外への転居希望が伺われる。

問1 1 問4	西崎・光洋	潮平	兼城	糸満 ・糸満南	高嶺	真壁・喜屋武 ・米須	他の 市町村	合計
西崎・光洋	9	2	3	0	0	1	6	21
潮平	1	12	1	1	0	0	11	26
兼城	0	0	4	0	0	0	5	9
糸満・糸満南	3	1	0	15	2	0	5	26
高嶺	0	0	0	1	5	0	4	10
真壁・喜屋武 ・米須	2	0	0	0	2	10	2	16
無回答	1	1	0	1	3	1	0	7
合計	16	16	8	18	12	12	33	115



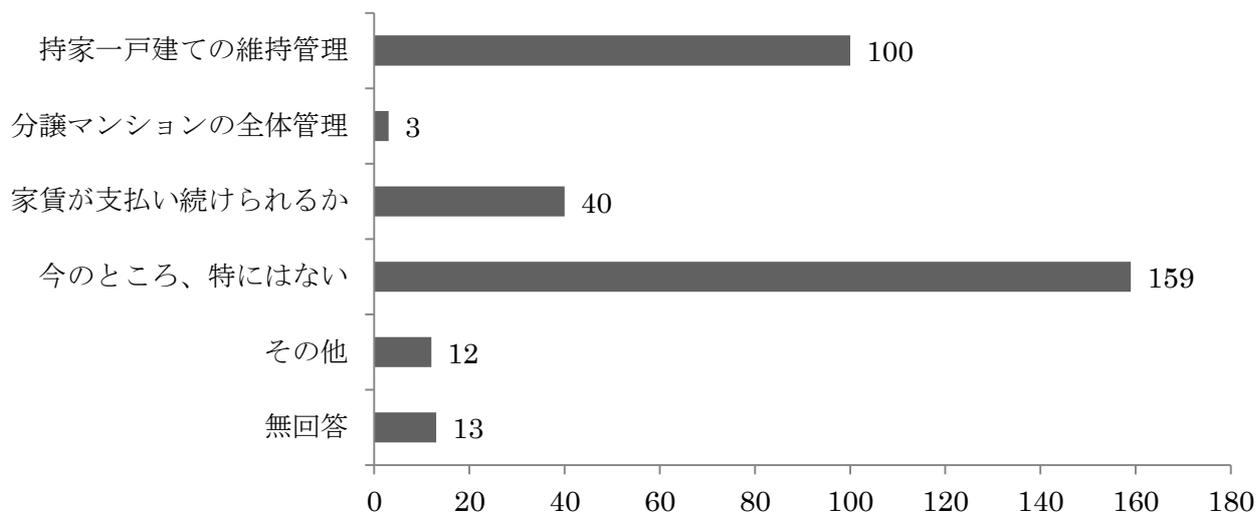
■西崎・光洋 ■潮平 ■兼城 ■糸満・糸満南 ■高嶺 ■真壁・喜屋武・米須 ■西崎・光洋 ■他の市町村

⑥現在または将来にわたっての不安

「今のところ、特にはない（48.6%）」が最多であり、次いで「持家一戸建ての維持管理（30.6%）」となっている。

現状では不安要素が特にはないと思う世帯がほとんどである。しかし住宅のローンや修繕費、家賃等、経済状況の不安が伺われる。

（問12）現在または将来にわたっての不安	件数	割合
持家一戸建ての維持管理	100	30.6%
分譲マンションの全体管理	3	0.9%
家賃が支払い続けられるか	40	12.2%
今のところ、特にはない	159	48.6%
その他	12	3.7%
無回答	13	4.0%
合計	327	100.0%



【その他内訳】

- ・ 県営住宅（市営も含む）が多い事で治安、財政に不安
- ・ 持家一戸建ての土地代が高く購入できそうにない
- ・ 農地から宅地へ申請するが何年も回答がでない状態
- ・ 持家一戸建てを購入できるほどの収入が得られるか
- ・ 5年後、団地の建て替え予定があるが、その際移転先の家賃が不安
- ・ 年金給付、受給時の負担、格差→生活の質
- ・ 近隣住民とのトラブル
- ・ 通勤通学に必要なとする道路の公平な整備のお願いに耳を傾けて頂きたいです。
- ・ 自然災害
- ・ 古すぎて使いづらいので、早めに建替えて欲しい
- ・ 引越を考えているが、アパート代が高くとどまっている

3) 住宅や施設整備の支援

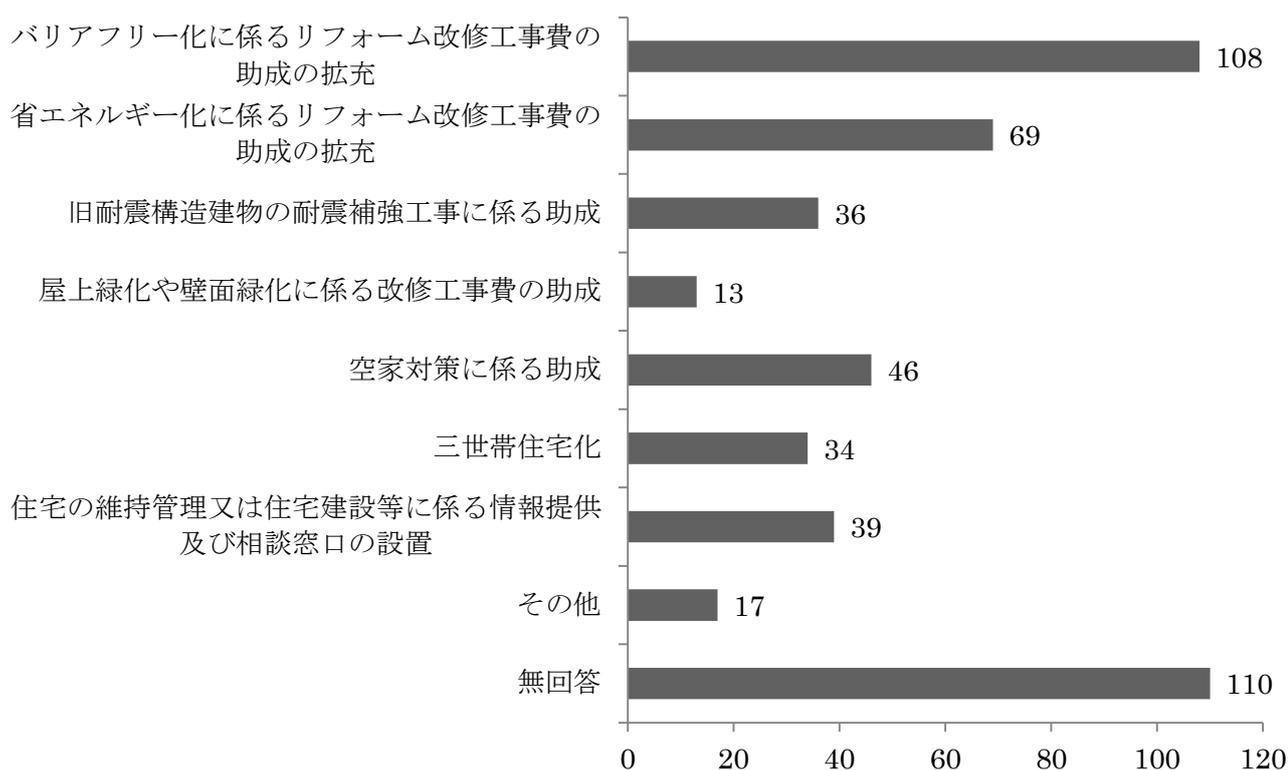
①市に力を入れてほしい支援

「バリアフリー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充（22.9%）」が最多となっている。

回答理由としては助成金の上限額増加を望む意見が目立った。他の回答での理由も上限額の増加等の意見が目立つことから、世帯主の収入による影響が伺える。

(問13) 市に力を入れてほしい支援	件数	割合
バリアフリー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充	108	22.9%
省エネルギー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充	69	14.6%
旧耐震構造建物の耐震補強工事に係る助成	36	7.6%
屋上緑化や壁面緑化に係る改修工事費の助成	13	2.8%
空家対策に係る助成（解体撤去工事・リフォーム改修工事の助成など）	46	9.7%
三世帯住宅化（親世帯+子世帯+祖父母世帯）に係るリフォーム改修工事等の助成	34	7.2%
住宅の維持管理又は住宅建設等に係る情報提供及び相談窓口の設置	39	8.3%
その他	17	3.6%
無回答	110	23.3%
合計	472	100.0%

※バリアフリー化、省エネ化に係るリフォーム費用は現行、対象工事費20%補助、1戸上限額20万円



【バリアフリー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充】の意見・提案

＜助成額に関する意見＞

- ・一戸上限額30万～50万円までの助成
- ・半分を補助
- ・年金受給者へのリフォーム改修工事費の高率補助
- ・自宅介援している人に対して補助金を増やして欲しい

＜住宅に関する意見＞

- ・段差や屋内、屋外の手すり
- ・賃貸住宅にも改修工事が施せるのか？
- ・高齢化しているので、バリアフリー工事を考えた

【省エネルギー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充】の意見・提案

＜助成額に関する意見＞

- ・経費の半額以上が望ましい
- ・半分を補助
- ・太陽光発電への補助5%
- ・現行より30%補助
- ・上限額30万にアップして欲しい
- ・生ごみ処理器全額負担してほしい

＜個人に関する意見＞

- ・太陽光発電等の設置を考えたい
- ・やはりこれから先を考えると、省エネは大事だと思う
- ・太陽光発電
- ・原発がきらい

【旧耐震構造建物の耐震補強工事に係る助成】の意見・提案

＜助成額に関する意見＞

- ・他と同様に助成してほしい
- ・鉄筋コンクリー造の耐震補強工事費を助成
- ・半分を補助
- ・低所得老人世帯に助成金を50%にしてほしい！
- ・コンクリート遺物造物の劣化補強

＜個人に関する意見＞

- ・東日本大震災をテレビで見て必要と思った
- ・住んでいる地形に不満があるので
- ・瓦屋根で外壁はコンクリート外壁にひび割れが出ている。

【屋上緑化や壁面緑化に係る改修工事費の助成】の意見・提案

- ・隣の壁にひびがはいりあぶないが、居住者が特定できないため話にならない、市のほうで何とかしてほしい、学道でもあるため危険である。

- ・地球にやさしい糸満市になってほしい
- ・半分を補助
- ・公共施設は無料助成100%

【空き家対策に係る助成（解体撤去工事・リフォーム改修工事の助成など）】の意見・提案

<助成額に関する意見>	<空き家に関する意見>
<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム改修工事助成50%補助してほしい ・所有者の所得に応じて20%～50%助成を ・半分を補助 ・空き家対策等撤去工事助成など ・解体撤去工事の助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家をリフォームして借地に ・ネズミやハブの住処となるような家屋か雑草の対策 ・防犯にもなる ・安全の為（火事や不審者の温床） ・空き家賃貸のあっせん ・中古物件として需要にこたえる ・リフォーム後生活困窮者への貸出
<地域に関する意見>	
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地になっておるための思索をしっかりとやってほしい ・高齢化に伴い空き家が増えている。有効に活用できないか？ ・リフォーム改修工事で住める用になればいいと思う 	

【三世帯住宅化（親世帯+子世帯+祖父母世帯）に係るリフォーム改修工事等の助成】の意見・提案

<助成額に関する意見>	<個人に関する意見>
<ul style="list-style-type: none"> ・息子との同居に伴いリフォーム改修あるいは新築等の助成、相談など ・助成があれば良いと思います ・半分を補助 ・孫の世代になろうとするが改修工事が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は同居し親の介護をしたいと思っている ・今後世帯が変わるにあたり、ずっと住めるような支援は必要と思う。環境的立地的にはいいところなので ・家族の孤立化をふせぐ

【住宅の維持管理又は住宅建設等に係る情報提供及び相談窓口の設置】の意見・提案

<ul style="list-style-type: none"> ・台風対策、強風で飛ばされる場所の支援 ・半分を補助 ・市建築部門からの情報提供、窓口が気軽に利用できるよう広報等をお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設、建築に関する情報が薄い感じがあるので相談窓口があると、半永久的に住めるのではないのかなー ・気軽に安心して相談できる業者等の情報提供が欲しい
--	---

【その他】の意見・提案

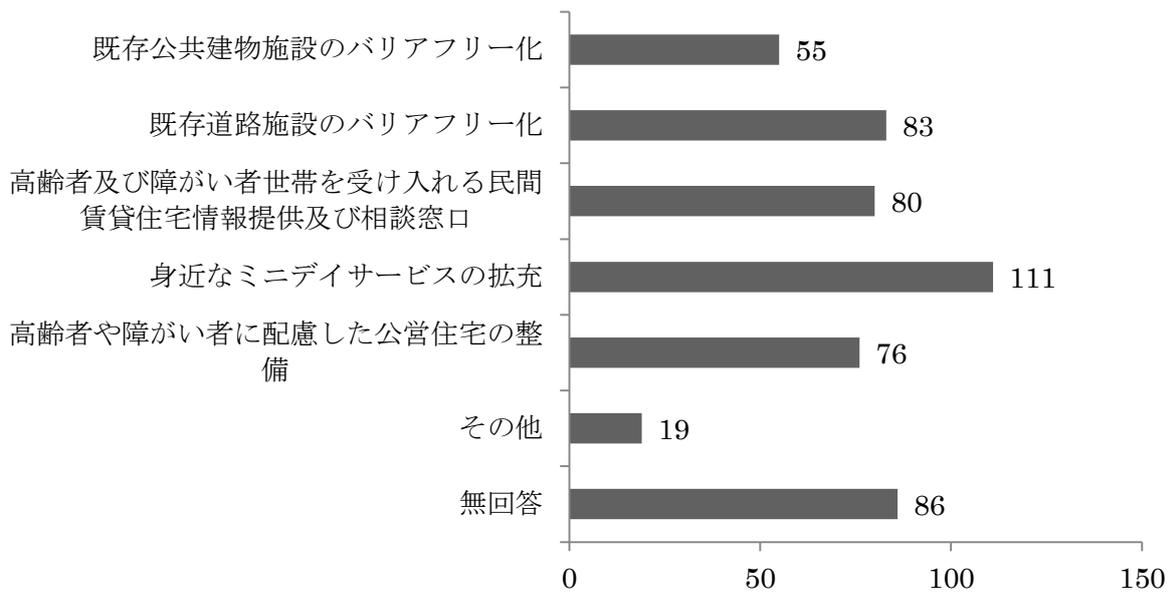
<p>＜助成に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶養者数に応じた住宅補助手当。 ・太陽光パネル、生ごみ処理（コンポスト）の家庭菜園への補助金。 ・災害対策として蓄電池に対する助成。 ・住宅建設の補助金を市も助成する。 ・建築25年以上のペイント工事（市が指定する色）の助成をして欲しい。 	<p>＜地域に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーによる案内、配置してある全方向スピーカーは、我家側からは何をしゃべっているか全くわかりません。災害時不安。 ・市街地調整区域における地区計画事業を積極的に行い、インフラ（上下水道）の整備と建築許可の簡素化。 ・市街化調整区域の見直し。 ・糸満のPR。
<p>＜住宅に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の病患もっている人を優先的に団地に入れるようにして欲しい。 ・実家が白蟻にやられて内部がボロボロだが建て替えできない。 ・低所得者が自立して、安心して暮らせるくらいの家賃。 	

②高齢者・障害者の為に市が取り組むべきと思うもの

「身近なミニデイサービスの拡充（21.8%）」が最多。次いで「既存道路施設のバリアフリー（16.3%）」、「高齢者及び障がい者世帯を受け入れる民間賃貸住宅情報提供及び相談窓口」となっている。

既存施設のバリアフリー化が求められている一方、保証人や家賃に関する問題など、高齢者や障がい者が借りられる民間賃貸住宅の情報や相談窓口が少ないのが伺われる。

（問14）高齢者・障がい者の為に市が取り組むべきと思うもの	件数	割合
既存公共建物施設（保育園、幼稚園、小中学校等）のバリアフリー化	55	10.8%
既存道路施設のバリアフリー化（音響装置付信号機、歩道の段差解消等）	83	16.3%
高齢者及び障がい者世帯を受け入れる民間賃貸住宅情報提供及び相談窓口	80	15.7%
身近なミニデイサービスの拡充	111	21.8%
高齢者や障がい者に配慮した公営住宅の整備	76	14.9%
その他	19	3.7%
無回答	86	16.9%
合計	510	100.0%



【既存公共建物施設（保育園、幼稚園、小中学校等）のバリアフリー化】の意見・提案

- ・市の広い階段の手すりには中央にも手すりが必要です。
- ・老人が利用する施設、体育館等のみ賛成小中学校の教室は従来通りで運動機能低下につながると思う。
- ・特にトイレ等のバリアフリー化は欠かせなく必要だと感じます。
- ・保育園の数を増やして欲しい

【既存道路施設のバリアフリー化（音響装置付信号機、歩道の段差解消等）】の意見・提案
車椅子利用者を考慮した歩道の拡張と段差の解消、横断歩道付近の街灯整備等の意見が多い。

＜歩道に関する意見＞

- ・歩道、側溝の整備。
- ・歩道の拡張。
- ・歩道が狭すぎる。
- ・歩道と車道の区別、※国道以外で村道や学道
- ・歩道スペースが狭く危険な箇所が市内に多々あるので整備して頂きたい。
- ・車イスで動きやすいように勾配を少なくして欲しい。
- ・歩道の段差は、車イスなどで移動する際躓いて転倒のリスクがあり、心配ではありません。

＜地域に関する意見＞

- ・T字路の道路で街灯が必要なところがある。
- ・学校近くの歩道橋。
- ・昼間の横断歩道はわかるが夜は暗く自転車とぶつかりそうだった。
- ・バリアフリー少ない。
- ・足の悪い障がい者です。先日自宅近くで市の工事がありました。夜間の表示が無く、工事をやっていることを知らずに歩いて転びました。この様なことはやめていただきたい。

＜道路に関する意見＞

- ・道路が狭く救急車が入れない進路があります。
- ・道の整備。
- ・農村地域の道路の整備が不足（信号白線等）。

【高齢者及び障がい者世帯を受け入れる民間賃貸住宅情報提供及び相談窓口】の意見・提案

＜住宅に関する意見＞

- ・公営住宅の増築。
- ・現在車イスの方がアパートの入所で大変困
- ・老人ホームを市が運営する。
- ・高齢者や障害を持たれている方の世帯は、介護費等も多くかかるため、住む場所できさえもいろいろ不安にしていることはあると思います。

＜相談窓口に関する意見＞

- ・母親と将来本人等が必要であろう高齢者住宅のあり方等の相談窓口の設置。
- ・様々な障がいを持つ者全てを受け入れられる相談員の育成。
- ・高齢や障がいを理由に入居を断られ、保証人を確保できない方の相談窓口があると良い。

【身近なミニデイサービスの拡充】の意見・提案

人口の少ない集落でも取り入れられるような、公民館等の公共施設を利用した小さなサークル活動とその運営に関する意見が多い。

＜施設利用に関する意見＞

- ・公民館などの施設を活用して日中は高齢者のための事を、夕方からは地域の子供の学習教室等の支援を役所にやってもらいたい。
- ・公民館などの施設を利用して、歌、三線等サークル活動の推薦
- ・自治会室が小さい施設は市の送迎で市社協又は、環境改善センター等を利用させてほしい！
- ・保育園、幼稚園と高齢者のサービス施設を同じ建物にして、階上や階下で分けるとかする、共同体にする。

＜地域に関する意見＞

- ・今後、一人世帯が多くなると思うのでその対策
- ・人口の少ない集落でもしてほしい
- ・地域、となり近所で、声かけ、呼びかけ、運動のような、運動を始めようではないか。ときには、お茶飲み会など
- ・室内遊び、運動等、軽いスポーツが出来て体力つけて欲しいです
- ・送迎車配置。デイサービスに行きたくても足がない人のために
- ・出来る限り回数を増やしてほしい
- ・独居世帯にいる高齢者も多く、ミニデイサービスなどの利用を通して、少しの体調などの変化にも周りの方が気付いてあげられる環境作りは大切だと思います。

【高齢者や障がい者に配慮した公営住宅の整備】の意見・提案

高齢者や障がい者が利用しやすいエレベーターの設置や段差の解消が多く、現在バリアフリーが施されていない、もしくは行き届いていない住宅に住んでいる世帯が見受けられる。また、低所得者向けや独居等、入居条件の意見が目立った。

＜設備に関する意見＞

- ・エレベーター等が少ない。ないに等しい。
- ・車イス等でスムーズに出入りが出来、風呂場、トイレの利用もできる。
- ・高齢者や障害者専用の住宅エレベーター設置。
- ・段差をなく、手すり、エレベーター、引戸等を入れて欲しい。
- ・段差がない。
- ・階段の上り下りがきつい為、中層にもエレベーターを設置してほしい。

＜入居に関する意見＞

- ・バリアフリーと独居でも入居が可能となる事。
- ・優先に入居させてほしい。
- ・低料金の公営住宅。
- ・小さくてもいいので、低家賃やバリアフリー等の検討など。
- ・収入や年金の少ない人達が住める用な家賃又は整備をして欲しい。
- ・低額な入所施設が少ない。

＜住宅に関する意見＞

- ・公営住宅の1階は、高齢者と身体障害者世帯に。
- ・営利目的でない支援住宅、介護施設があると助かります。
- ・将来買者を近くで出来るようにしてほしい。

【その他】の意見・提案

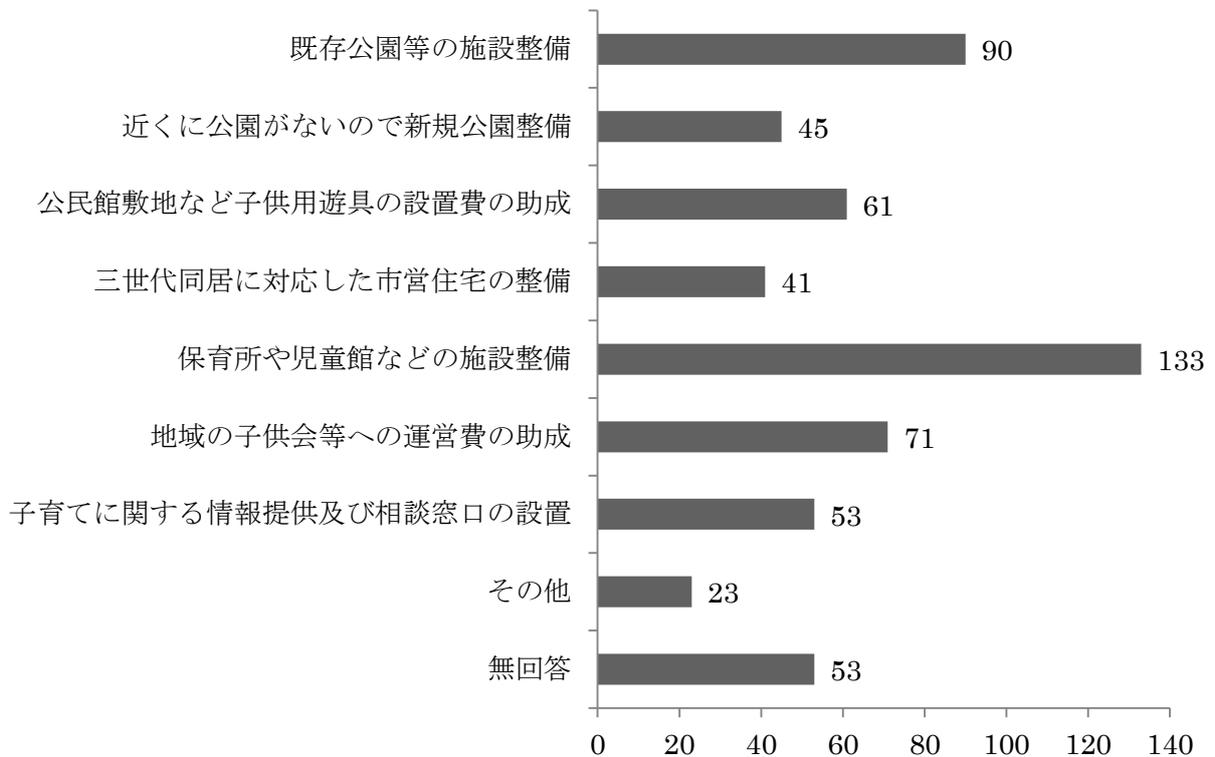
<支援に関する意見>	<地域環境に関する意見>
<ul style="list-style-type: none">・ 自立・ 高齢者、障害者が自立して生活できるハード面の整備・ 買い物や病院通院への援助・ 保証人さがして、困った。何とか対策を・ 高齢者の生きがい作りをして学童保育を手伝ってもらう方法・ スカイスportsジムに行っていますが、糸満市にもSportsジムを作って高齢者の健康施設を作れば老人施設を増やさなくても良いと思います。	<ul style="list-style-type: none">・ 公共道路の植物、雑草の管理手入れ等・ 公共施設、公園、道路等の補修、草刈、整備・ 公共交通機関の充実・ 交通機関整備 ※公共物の無料バス等・ 低地帯の大雨時の浸水・ 道路の安全化、夕方六時頃から街灯がない・ インフラ整備・ 場所を考える下校後の子供たちを公民館に寄ってもらいお年より達と交流していく方法。宿題する場所、本を読む場所、よみかせ等の場所作り。元気なお年よりに付き合ってもらおう事。
<住宅に関する意見>	
<ul style="list-style-type: none">・ 母子家庭等の受入れ等・ 独居者の把握と隣近所との関係把握、定期的訪問調査	

③子育てしやすい街づくりの為に市が取り組むべきと思うもの

「保育所や児童館などの施設整備（23.3%）」が最多で、次いで「既存公園等の施設整備（15.8%）」「地域の子ども会等への運営費の助成（12.5%）」「公民館敷地など子供用遊具設置費の助成（10.7%）」となっている。「その他（4.0%）」の意見でも、街の美化や既存施設や遊具の徹底的な維持・管理に関する意見が目立った。

子どもが遊べる場所づくりとして、公園や保育所・児童館等の定期的な整備を望む意見が多い。安心・安全で遊べる施設の持続が子育てしやすい、という世帯主の認識が伺える。

(問15) 子育てしやすい街づくりの為に市が取り組むべきと思うもの	件数	割合
既存公園等の施設整備（遊具更新等）	90	15.8%
近くに公園がないので新規公園整備	45	7.9%
公民館敷地など子供用遊具の設置費の助成	61	10.7%
三世代同居に対応した市営住宅の整備	41	7.2%
保育所や児童館などの施設整備	133	23.3%
地域の子供会等への運営費の助成	71	12.5%
子育てに関する情報提供及び相談窓口の設置	53	9.3%
その他	23	4.0%
無回答	53	9.3%
合計	570	100.0%



【その他内訳】

＜地域に関する意見＞

- ・ 公共施設、公園、道路等の補修、草刈、整備
- ・ 公園は草だらけです。ほとんどの季節が暑すぎて外で遊べないのもったいないなどいつも思います
- ・ 公園などの夜間照明をもっと設置する。
- ・ 市に力を入れて欲しいです。美々ビーチや親水公園など主要な公園の遊具の老朽化を見て頂きたい。新しく作るばかりではなく、既存の物をきちんと管理して欲しいです。市は特に管理において他市町村と比べ劣っていると感じます。
- ・ 公園の清掃や草刈を定期的に行って子供達が利用しやすい環境にすること。
- ・ 市営住宅ですが、子供の遊び場がないです。視察をお願いします。
- ・ 既存の公園の徹底した維持管理
- ・ 町の美化。道の草ぼうぼう茂っているのを手入れする。落書きをきれいにする。町がきれいになると、犯罪も減り、明るく清潔な印象の町には人も住みたがる。街灯のない場所には街灯を設置。
- ・ 安全な歩道の確保（雑草で通れない、路肩のスペース拡大する）信号機の設置

＜教育等に関する意見＞

- ・ 武富ハイツは小学校中学校が遠い。他の市町村の学校に行けるようになると良い
- ・ 母子、父子家庭から市へ求められる取組調査、実施。片親だと仕事時間の制限により、低収入になりやすく、環境も十分でない場合があるので、夕方～夜の開放施設で、子供の十分なケアを目的とした集団教育システム作りとか
- ・ 学生向けの保険料助成、学費助成
- ・ 教育環境の充実
- ・ 子供達の居場所を作るための助成
- ・ 各職場での産休支援についての強制、教育
- ・ 高齢者や子供教育に対しての優遇処置
- ・ プロスポーツ誘致、文化、芸術の拠点
- ・ 集団登校の推進

＜保育支援に関する意見＞

- ・ 待機児童の解消につながる認可保育園の造設と費用の低減化（補助金等の増額）の実施
- ・ 子育て支援の充実、保育時間の延長等働くお母さんを支援、子供が急病になっても安心して働けるよう
- ・ 子供2人を保育園に預けるのに仕事をしないと、だめだとか、仕事をしていても一定時間足りないとだめだとか、市政の考えがわからない
- ・ 待機児童数を減らすための対策

4) 市営住宅について

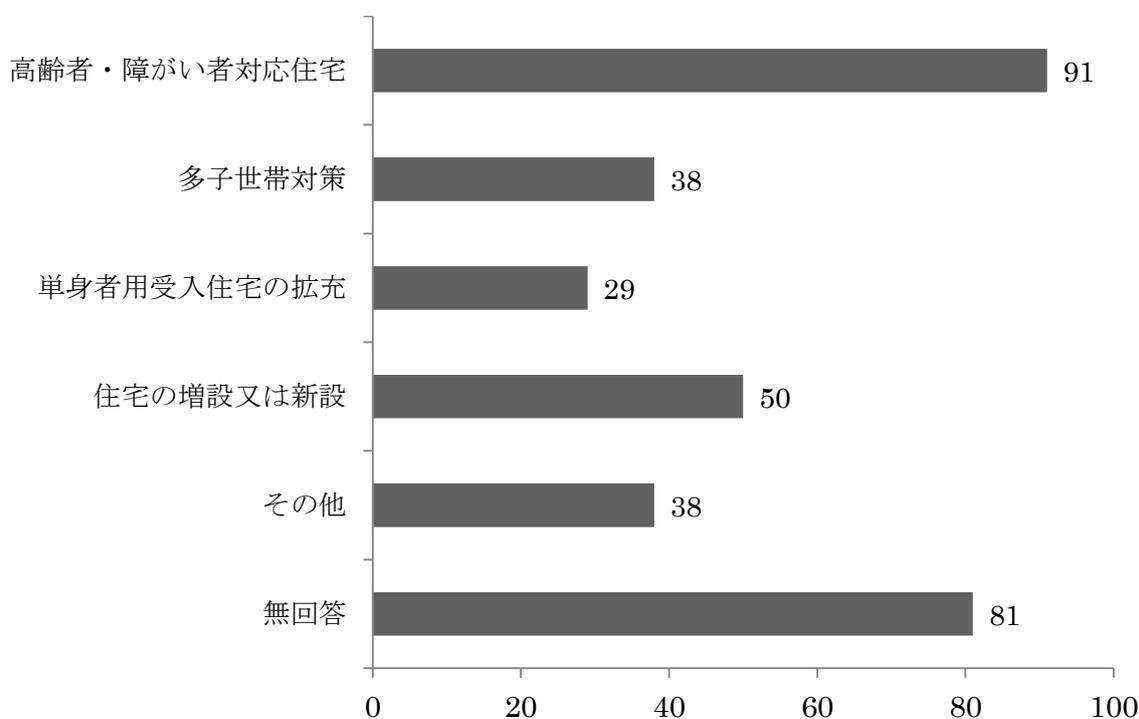
①市営住宅に望むものと回答理由

「高齢者・障害者対応住宅（27.8%）」が最多。次いで「住宅の増設又は新設（15.3%）」「多子世帯対策（11.6%）」「その他（11.6%）」となっている。

「その他」の意見では低所得者向けや母子・父子世帯の入居の意見が目立った。

回答理由の「民間住宅は家賃の負担が難しい（27.3%）」が最多。次いで「民間住宅は、バリアフリー対応が少ない（16.5%）」「民間住宅は、単身高齢者の入居が難しい（14.1%）」となっている。

(問16) 市営住宅に望むもの	件数	割合
高齢者・障がい者対応住宅	91	27.8%
多子（子供3人以上）世帯対策	38	11.6%
単身者用受入住宅の拡充	29	8.9%
住宅の増設又は新設	50	15.3%
その他	38	11.6%
無回答	81	24.8%
合計	327	100.0%



【その他内訳】

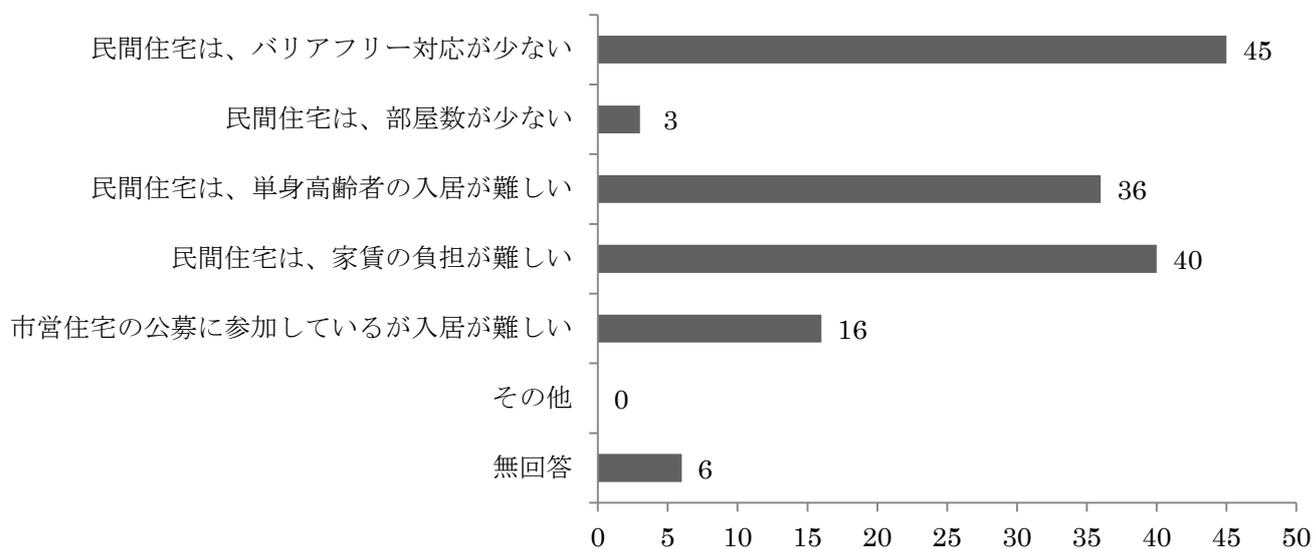
＜入居条件に関する意見＞	＜住宅に関する意見＞
<ul style="list-style-type: none"> ・収入による入居資格の有無は不公平と考えます ・母子家庭 ・母子・父子世帯がすぐ入居できるように ・母子世帯、困窮世帯への優先入居 ・母子・父子家庭への家賃配慮 ・低所得者向け ・所得の少ない人を優先的にして欲しい、また病気の人 ・福祉世帯のみの入居条件 ・多子の入居 ・低所得に対応を ・短期・中期の入居 ・入りたくても入れる機会がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃滞納者の対応。きちんと回収できているか ・メンテナンス及び新築 ・既存の住宅の改築は立て直し ・駐車場をマンション様に1階にしてほしい。一家の2台止められるよう希望 ・特定疾患の人が住めるような住宅 ・相応負担を希望する。シビアに対応してほしい <p style="text-align: center;">＜対応に関する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に精神障がい者、認知症の方が周囲の住民に迷惑行為を起こした場合の対応をしっかり行って欲しい ・空き家などあつせん、紹介 ・きれいに維持すること。ゴミ出しをきれいにする

民間では高齢者向けの賃貸住宅は少なく、契約するにも保証人や家賃の問題などで借りられなく、市営住宅等を頼る高齢者世帯が現状である。また、多子世帯では子供の数と部屋数が釣り合わなく、広い床面積の住宅で暮らすにも家賃の負担が厳しいので、民間よりも安く住める市営住宅を望んでいる。

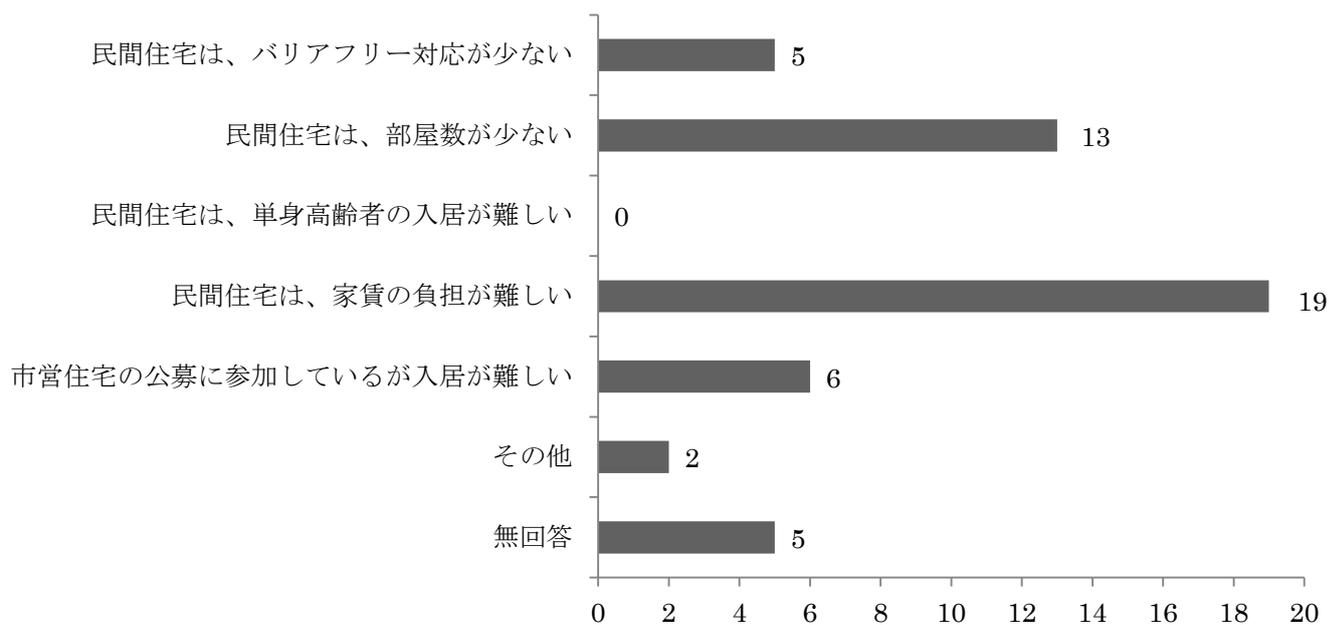
市営住宅に望むもの 回答理由	高齢者・障がい者対応住宅	多子（子供3人以上）世帯対策	単身者用受入住宅の拡充	住宅の増設又は新設	その他	無回答	合計
民間住宅は、バリアフリー対応が少ない	45	5	6	7	12	0	75
民間住宅は、部屋数が少ない	3	13	2	9	2	0	29
民間住宅は、単身高齢者の入居が難しい	36	0	8	8	11	0	63
民間住宅は、家賃の負担が難しい	40	19	14	31	17	2	123
市営住宅の公募に参加しているが入居が難しい	16	6	6	11	8	0	47
その他	0	2	1	3	7	0	13
無回答	6	5	6	3	4	78	102
合計	146	50	43	72	61	80	452

しかし、市営住宅の公募には参加しているが、入居が難しいため市営住宅の増設又は新設で入居できる機会を望んでいる傾向が伺える。

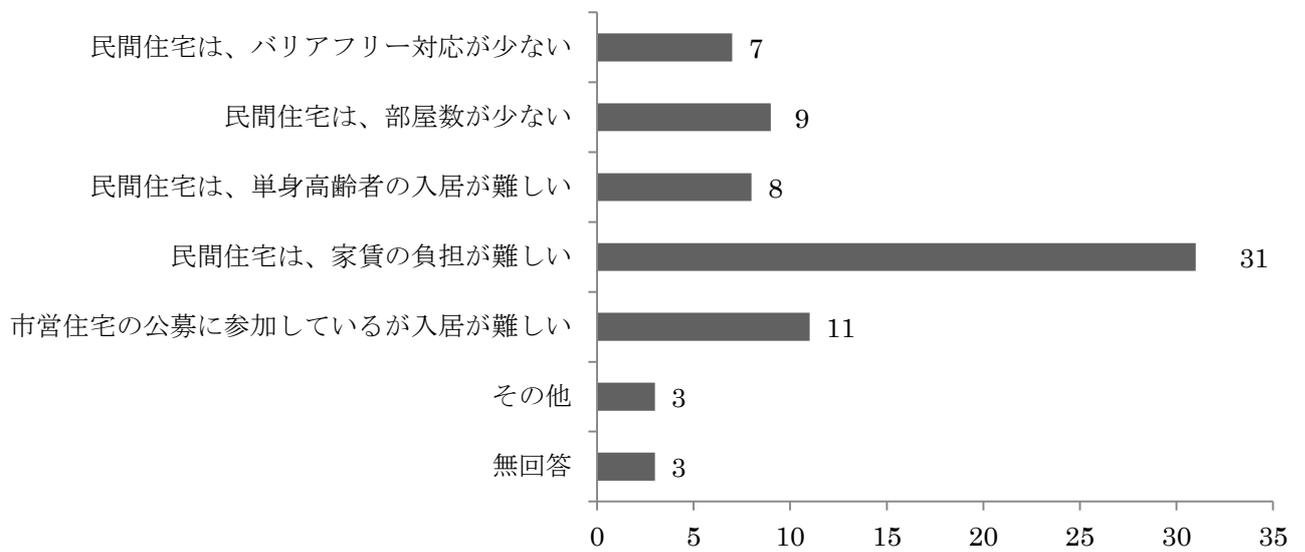
【「高齢者・障がい者対応住宅」の回答理由】



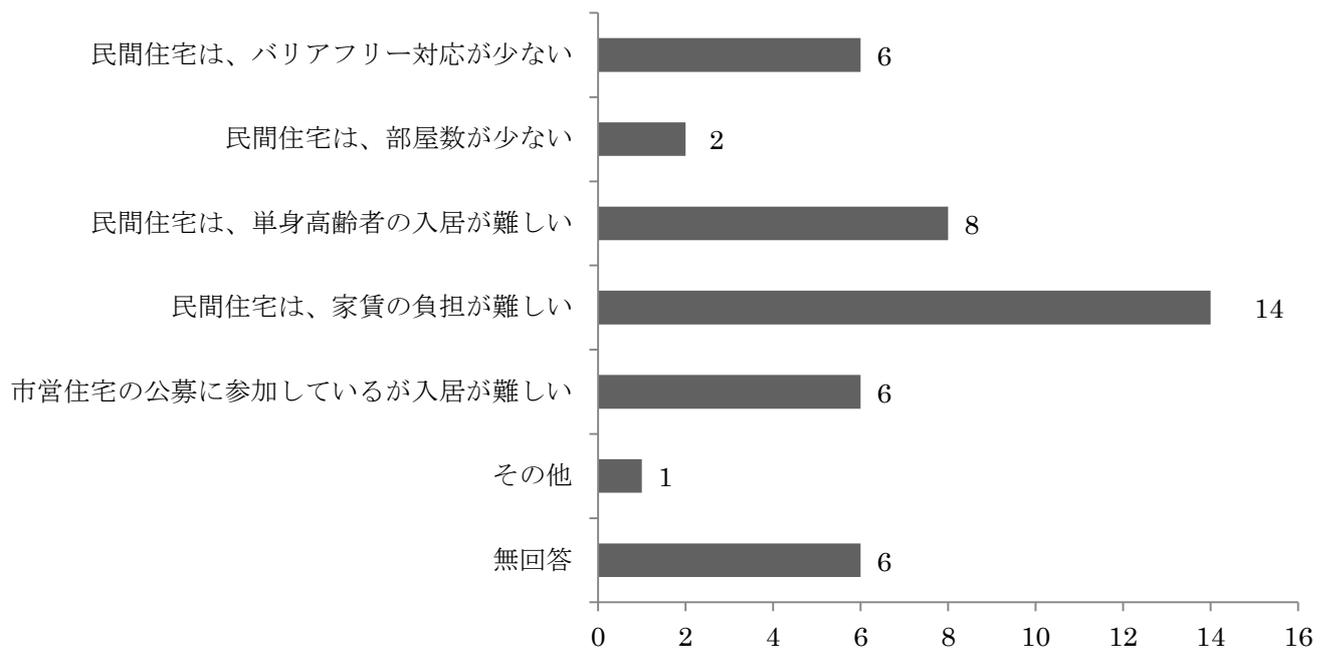
【「多子（子供3人以上）世帯対策」の回答理由】



【「住宅の増設又は新設」の回答理由】



【「単身者用受入住宅の拡充」の回答理由】

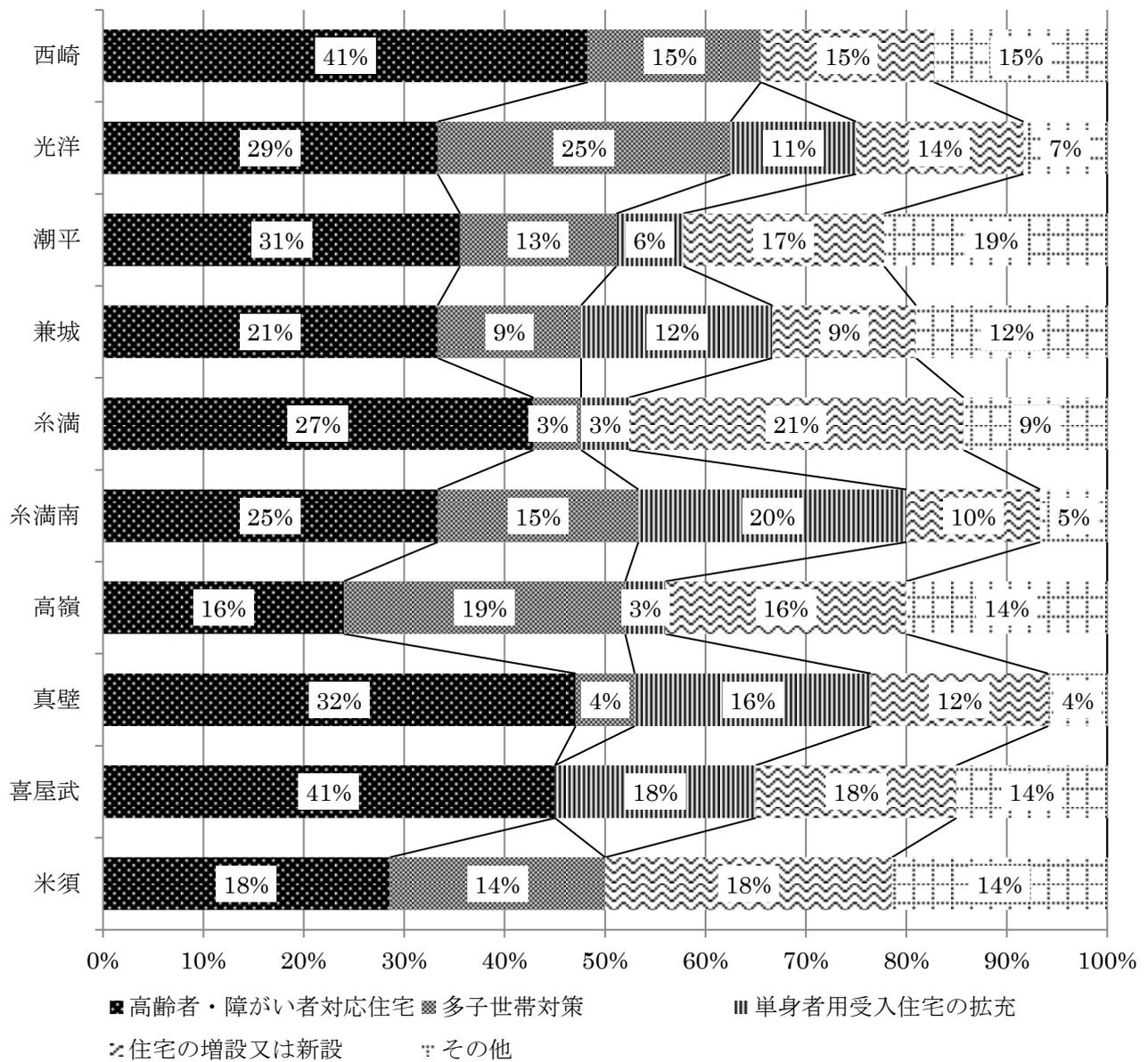


②小学校区別で市営住宅に望むもの

各小学校区に住んでいる世帯主が市営住宅に望むものでは、「高齢者・障害者対応住宅」が最多、次いで「住宅の増設又は新設」「多子世帯対策」となっている。校区別でも「高齢者・障害者対応住宅」が多い。

既存市営住宅には高齢者が多く、そのため世帯主の身体低下に伴いバリアフリーを配慮した市営住宅が望まれている。

	高齢者・障がい者対応住宅	多子（子供3人以上）世帯対策	単身者用受入住宅の拡充	住宅の増設又は新設	その他	無回答	合計
西崎	14	5	0	5	5	5	34
光洋	8	7	3	4	2	4	28
潮平	16	7	3	9	10	7	52
兼城	7	3	4	3	4	12	33
糸満	9	1	1	7	3	12	33
糸満南	5	3	4	2	1	5	20
高嶺	6	7	1	6	5	12	37
真壁	8	1	4	3	1	8	25
喜屋武	9	0	4	4	3	2	22
米須	4	3	0	4	3	8	22
無回答	5	1	5	3	1	6	21
合計	91	38	29	50	38	81	327

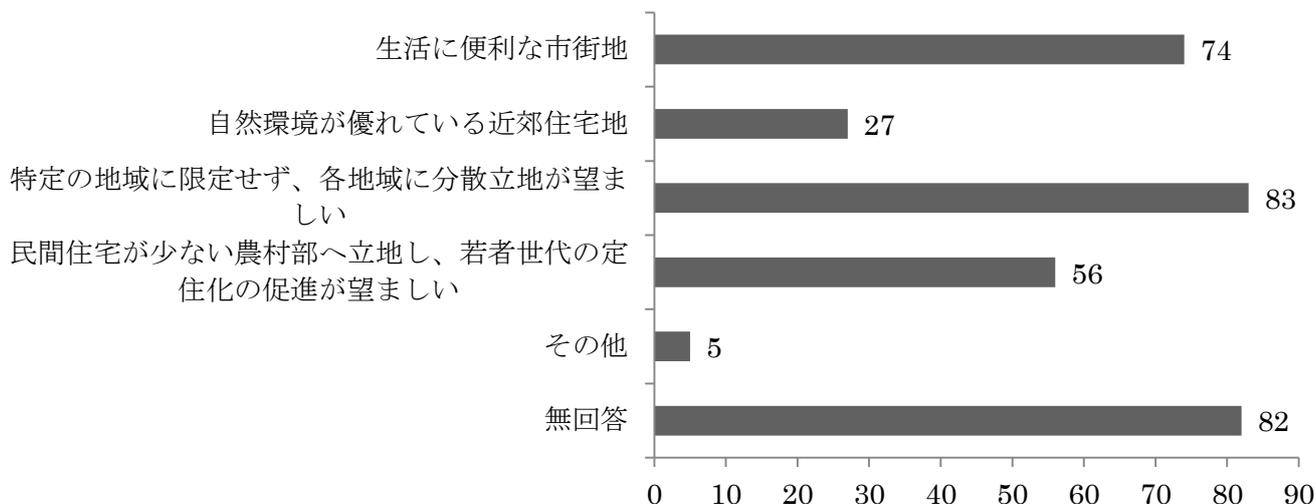


③市営住宅の立地について望むもの

立地については「特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい（25.4%）」が最多、次いで「生活に便利な市街地（22.6%）」「民間住宅が少ない農村部へ立地し、若者世代の定住化の促進が望ましい（17.1%）」となっている。

市営住宅の立地条件には特に拘っていない世帯とは逆に、市街地には商業施設等が集中しているため、その便利さから市街地への立地を望んでいるのも伺える。

(問18) 市営住宅の立地について望むもの	件数	割合
生活に便利な市街地	74	22.6%
自然環境が優れている近郊住宅地	27	8.3%
特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい	83	25.4%
民間住宅が少ない農村部へ立地し、若者世代の定住化の促進が望ましい	56	17.1%
その他	5	1.5%
無回答	82	25.1%
合計	327	100.0%



【その他内訳】

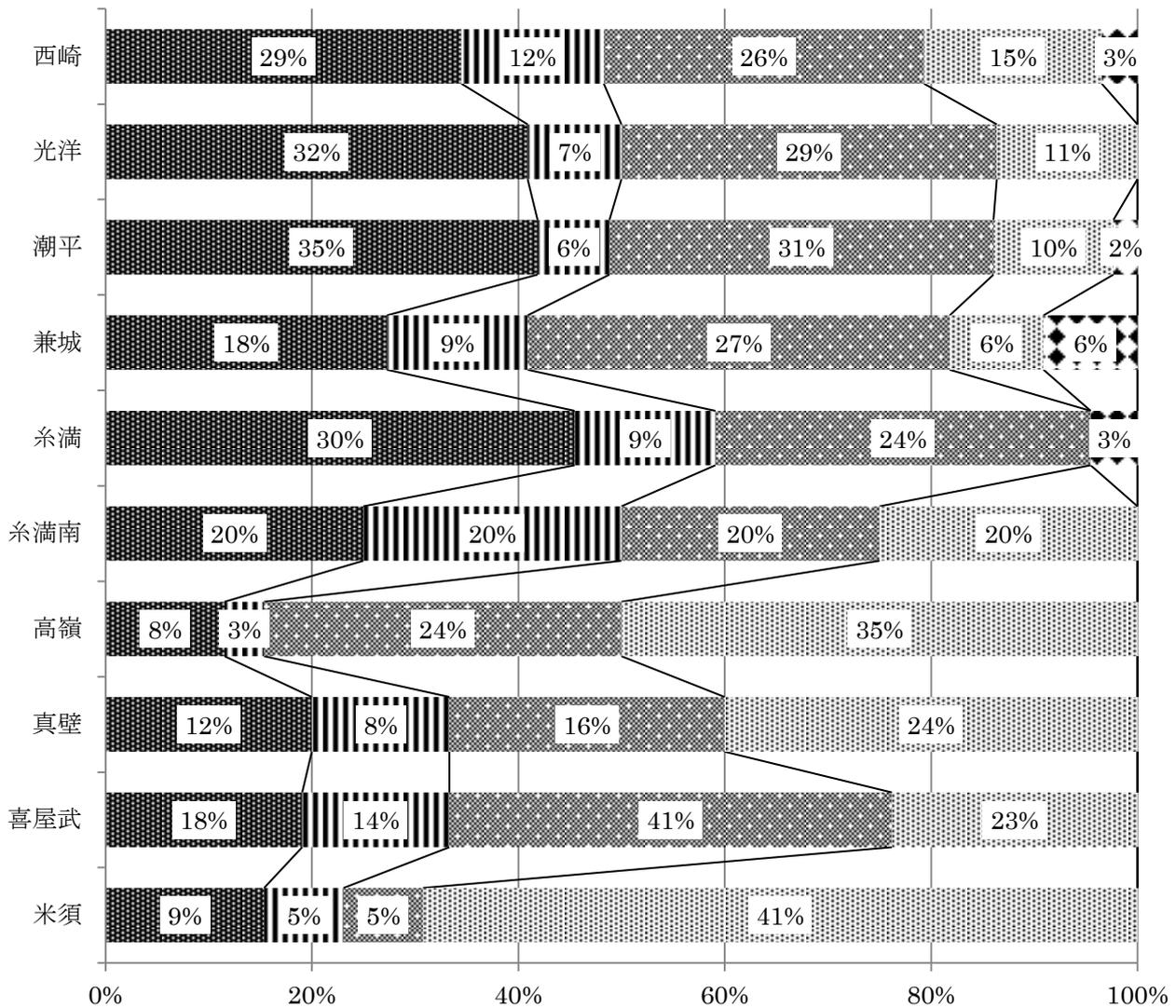
- ・必要なく市が担保し民間の活用
- ・公営住宅を一ヶ所にまとめニュータウン化し小学校や中学校等、ショッピングモール等があるという様な計画はいかがでしょうか？
- ・住宅地にふさわしい環境に立地すべきだと思う
- ・市内バス網羅
- ・アパートが多く地域外での生活が中心となり祖父のさびしさ、空家が多く公営住宅、民間住宅などは全く希望ありません
- ・津波がこない所がいい
- ・治安良く出来る環境を大人が作ると、どこでもいいと思います。
- ・土地代が安い場所に。

④現在住んでいる小学校区と市営住宅に望む立地

「特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい」が最多、次いで「生活に便利な市街地」「民間住宅が少ない農村部へ立地し、若者世代の定住化の促進が望ましい」となっている。各校区の内訳でみると市街化区域に指定されている校区では「生活に便利な市街地」が最も多く、高嶺・真壁・喜屋武・米須小学校区では「民間住宅が少ない農村部へ立地し、若者世代の定住化の促進が望ましい」が多い。

しかし、市街化区域に住んでいる世帯の約半数は市営住宅の立地には拘っていない。

	生活に便利な市街地	自然環境が優れている近郊住宅地	特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい	民間住宅が少ない農村部へ立地し、若世代の定住化の促進が望ましい	その他	無回答	合計
西崎	10	4	9	5	1	5	34
光洋	9	2	8	3	0	6	28
潮平	18	3	16	5	1	9	52
兼城	6	3	9	2	2	11	33
糸満	10	3	8	0	1	11	33
糸満南	4	4	4	4	0	4	20
高嶺	3	1	9	13	0	11	37
真壁	3	2	4	6	0	10	25
喜屋武	4	3	9	5	0	1	22
米須	2	1	1	9	0	9	22
無回答	5	1	6	4	0	5	21
合計	74	27	83	56	5	82	327



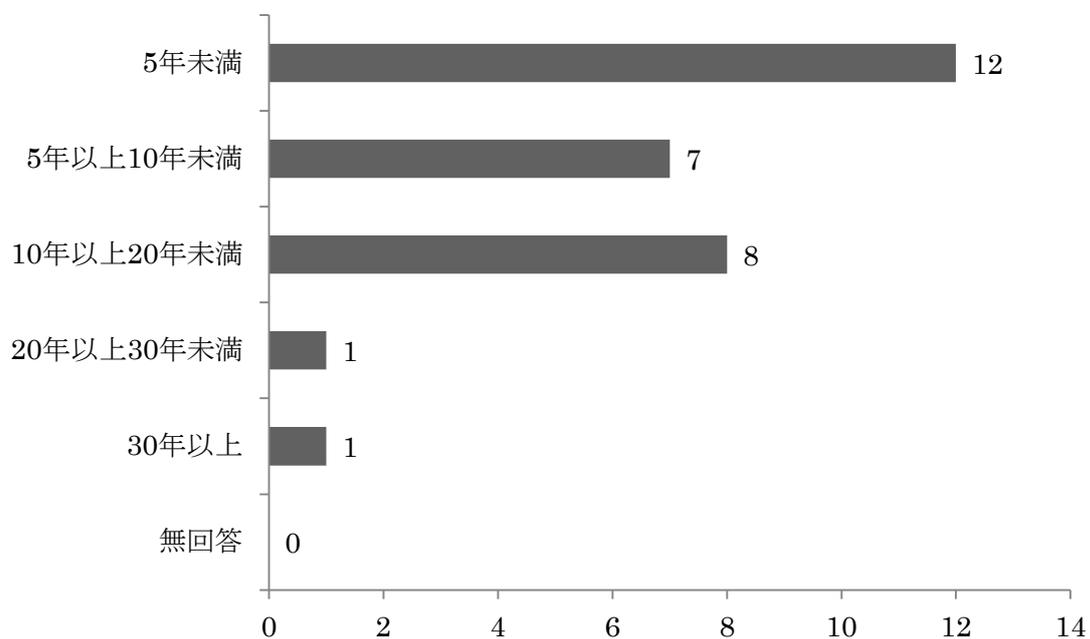
- 生活に便利な市街地
- ▨ 自然環境が優れている近郊住宅地
- ▩ 特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい
- ▤ 民間住宅が少ない農村部へ立地し、若世代の定住化の促進が望ましい
- ▧ その他

2. 多子世帯の特別集計

①住まいの住宅の広さと住宅の不満

「5年未満」が最多、次いで「10年以上20年未満」、「5年以上10年未満」となっている。多子世帯の4割は引っ越して来たばかりなのが伺われる。

(問6) 入居年数	件数	割合
5年未満	12	41.4%
5年以上10年未満	7	24.1%
10年以上20年未満	8	27.6%
20年以上30年未満	1	3.4%
30年以上	1	3.4%
無回答	0	0.0%
合計	29	100.0%

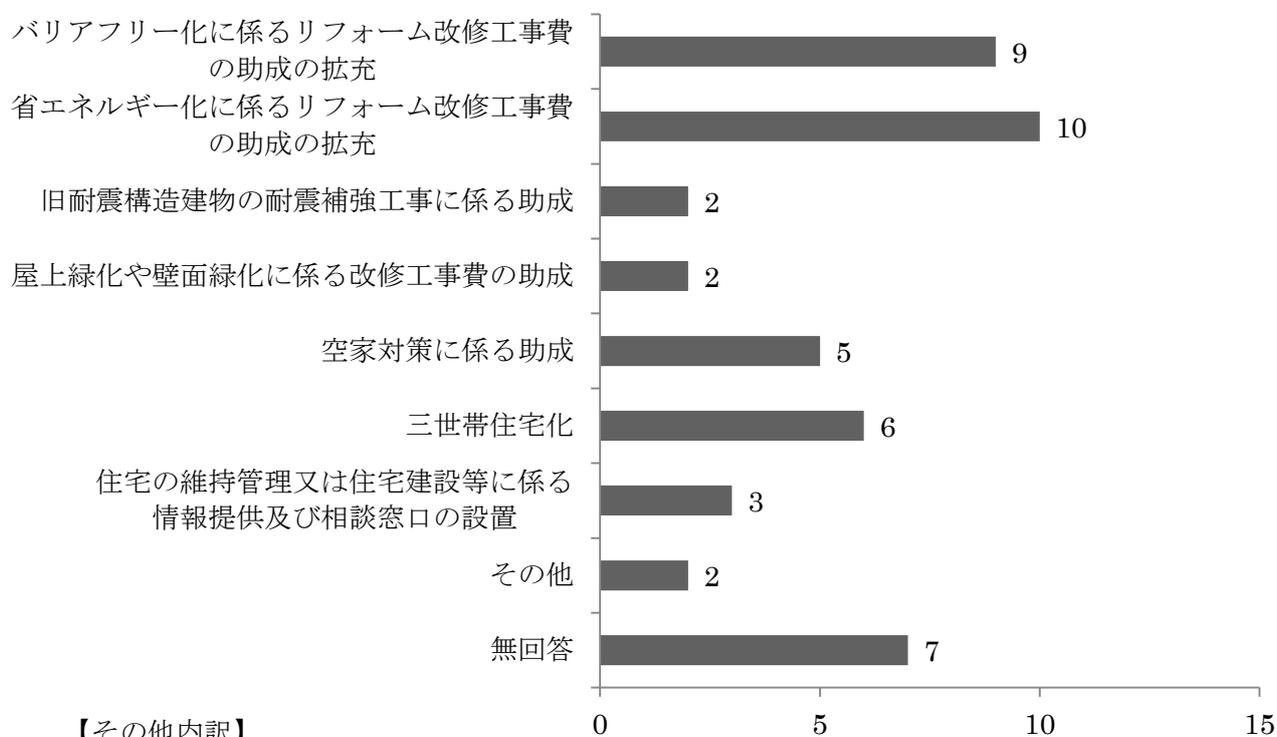


②市に力を入れてほしい支援

「省エネルギー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充」が最多、次いで「バリアフリー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充」「三世帯住宅化に係るリフォーム改修工事費の助成」となっており、リフォーム工事費の助成拡充を望む件数が多くみられる。

多子世帯では、バリアフリー、省エネ、三世帯住宅化のリフォームの件数が多いことから、長年かけて住める住宅環境に注目しているのが伺える。

(問13) 市に力を入れてほしい支援	件数	割合
バリアフリー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充	9	19.6%
省エネルギー化に係るリフォーム改修工事費の助成の拡充	10	21.7%
旧耐震構造建物の耐震補強工事に係る助成	2	4.3%
屋上緑化や壁面緑化に係る改修工事費の助成	2	4.3%
空家対策に係る助成（解体撤去工事・リフォーム改修工事の助成など）	5	10.9%
三世帯住宅化（親世帯+子世帯+祖父母世帯）に係るリフォーム改修工事等の助成	6	13.0%
住宅の維持管理又は住宅建設等に係る情報提供及び相談窓口の設置	3	6.5%
その他	2	4.3%
無回答	7	15.2%
合計	46	100.0%



【その他内訳】

・扶養者数に応じた住宅補助手当

③市営住宅に望むものと回答理由

市営住宅に望むものとして「高齢者・障がい者対応住宅」「多子世帯対策」が最多、次いで「その他」「住宅の増設又は新設」となっている。

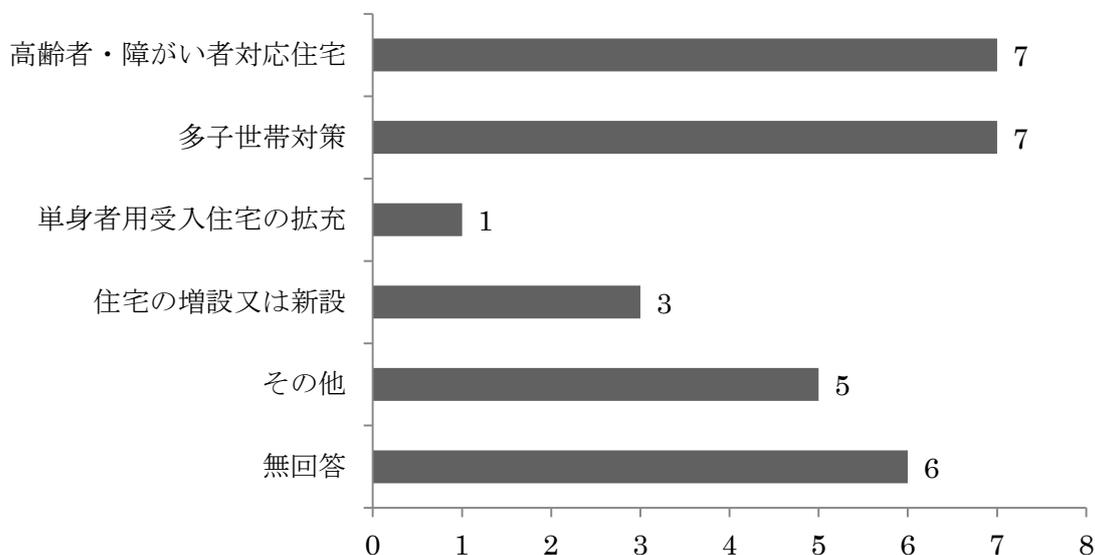
回答理由では「民間住宅は、バリアフリー対応が少ない」が最も多く、次いで「民間住宅は、家賃の負担が難しい」「民間住宅は部屋数が少ない」の順になり、単純集計とは望まれているものに違いがある。

多子世帯では、将来世帯主が高齢になった時、一緒に住む子ども（介護者）や孫の事を考えている傾向にみられる。

(問16) 市営住宅に望むもの	件数	割合
高齢者・障がい者対応住宅	7	24.1%
多子（子供3人以上）世帯対策	7	24.1%
単身者用受入住宅の拡充	1	3.4%
住宅の増設又は新設	3	10.3%
その他	5	17.2%
無回答	6	20.7%
合計	29	100.0%

【その他内訳】

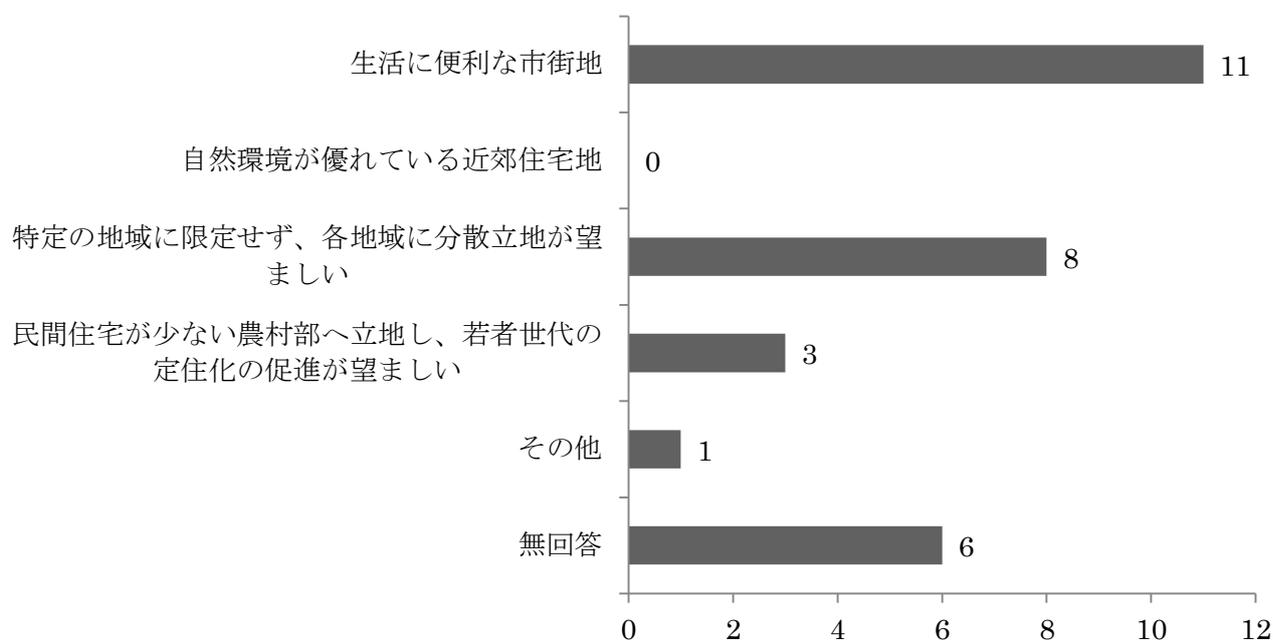
- ・低所得に対応を
- ・福祉世帯のみの入居条件
- ・収入による入居資格の有無は不公平と考
えます
- ・母子世帯、困窮世帯への優先入居
- ・家賃滞納者の対応。きちんと回収できて
るか。



④市営住宅の立地について望むもの

「生活に便利な市街地」が最多、次いで「特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい」となっており、単純集計とは逆の結果になった。しかし、立地条件に求めているものは同じである。

(問18) 市営住宅の立地について望むもの	件数	割合
生活に便利な市街地	11	37.9%
自然環境が優れている近郊住宅地	0	0.0%
特定の地域に限定せず、各地域に分散立地が望ましい	8	27.6%
民間住宅が少ない農村部へ立地し、若者世代の定住化の促進が望ましい	3	10.3%
その他	1	3.4%
無回答	6	20.7%
合計	29	100.0%



【その他内訳】

・市内バス網羅

3. 自由意見

【多子世帯】

- 子育てのし易い街にする為に、市は住宅の格差を無くすことが先だと思います。糸満市は子供の質が生活水準によって低いと思います。親の金銭的な負担が住宅に大半を占められているのであれば、もっと考えてあげられると、子供の質も良くなると思います。

【高齢者】

- 高齢でも独居でも障がい者になっても、安心安全に暮らせる糸満市にしてほしい。
- 高齢者のトイレがすくない。
- 高齢者への税のふたんを少なくしてほしい。一人暮らしの高齢者宅への見回りを強化してほしい。安全に生活しているか確認してほしい。

【不動産】

- 県外から引っ越してくる際に、不動産の方の受入れが少なく「家賃は高くても良いので3LDKを」と希望しても全く見せてもらえませんでした。どうやら県外の人を拒む傾向があるようで、空室自体はたくさんあったそうです。そういう考え方をやめる良い方法はないものかと思います。
- 持家を新築するにあたりアパートを1年以内借りたいと言ったら短期では契約できないと言われ大変困りました。そういう時に入居できるか考えてほしいです。道路もっときれいに。
- 新しい民間のマンション建設ラッシュですが、既存の民間空家（特に農村部）を利用して、家賃を抑えて貸し出してほしい。空家はたくさんあるのに賃貸物件の一軒家は少なく、高価である。新しく団地、マンションを建てるのなら、今ある既存住宅をリフォームして空家をなくした方が良いと思う。

【居住環境】

- 道路路肩の草刈りの頻度が少ない様に感じます。道路の三分の一を草木が塞いでいるときがあります。車両、人の通行には不安全な状態です。予算が厳しく仕方がないとは思いますが、地域と役所が話し合う必要があると思われれます。

- 下水道の整備。空地へのゴミの不法投棄の撤去。
- 犬を散歩させている人は数多くいます。一部の心無い飼い主が糞を放置しており、不衛生です。電柱に「注意喚起」の張り紙は法令上出来ないので困っております。防犯カメラの設置、飼い主に直接注意する等でしょうね。※道路をいつもきれいにしておけば、汚す人も少なくなると思います。
- 現在住んでいる家の近くに住宅地にも関わらず、車の修理工場が出来て困ってます。騒音、ホコリに悩まされ、夜は道路上に修理待ちの車等が常時止められています。又、溝側には浄化増（吸収車）の停車や駐車が常時見受けられ、環境に良くないと思われまます。役所の方で指導して頂きたいのですが。住宅地から西崎の工場地岸へ移ってもらいたいです。
- 又、飼い主のいないのか、道路や空地に猫が住みついでいて、不衛生だと思います。生ごみをあさり、フンの悪臭に悩まされ、夜間に鳴き声でおこされる事もあります。
- 市街化調整区域内の既存住宅地の活性化をうながす対策が必要だと思います。そのためには市街化区域並のインフラ（上下水道と道路幅の拡張など）の整備が糸満市全体の活性化につながると思います。そのためにも地区計画事業を学校所在地において積極的に行ってほしいです。
- 旧集落は先人の知恵で高台に形成されており津波の危険を考えた集落作りが行われていましたが、現在の糸満市の市街化地域はそうした先人達の知恵を無視した街作りのせいで、地震、津波など天災に弱い街となっています。一刻も早く、元の高台の集落に住宅地を移す必要があるのではないのでしょうか。
- 居住環境を良くするには、まず糸満市では外灯が信号機の他には、ほとんどありません。店舗、住宅の明かりが消えたころには、外は真っ暗です。五年前に那覇の方から引っ越してきてびっくりです。道路には、明るさがほしいです。糸満市の皆様はよく毎日を過ごしているのに（暗さに）。
- 潮崎の住宅地はつくられただけで、すべてにおいてみはなされています。外も歩けません。街灯がない、草ぼうぼうでアフリカマイマイがそこらじゅうにいて犬の糞はしっぱなし豊崎タウンと大違いでこちらに住み始めてがっかりしています。
- 歩道の整備（早めの雑草刈り取り）。

- 野良猫が多く、猫のフンやゴミをあらしたりして衛生上悪いと思っています。
- 台風時に停電しやすい所に住んでいる。停電時のすみやかな復旧、停電対策を考えてほしい。通学路の整備（草刈り、冠水対策、街灯の増設）路駐の取り締まり。
- 潮平兼城は大雨が降ると川のような状態になる事があります。タウンプラザかねひで、マックスバリューの前の通りです。こちらは歩道もなく、通行量も多いので大変危険だと思います。改善してほしいです。

【施設】

- 新設で市営団地や公民館が出来た際には、防災・防犯対策としてヘリから見える一字4m四方の対空表記（ヘリサイン）を団地名や公民館名として屋上に表記してみてはどうでしょうか？
- 高齢者施設と保育所及び児童館か病院が同じ施設内にあり安心して暮らせるような糸満市にしたい。ユニバーサルデザインは必要だと思います。特に文化施設及び体育及び運動施設も大切だと思います。
- 近くに大型スーパーがなく、公園もないので不便。
- スポーツジムで運動すると、認知症になるのが遅くなったり、健康になれば医療費の軽減になります。出来れば送迎もあると良い。あきねー商品券をジムにまわせば若者もン中年もメタボ対策になると思う。筋肉を増やす食事の指導も大切です。糸満市にスポーツジムを作って、市民の健康向上を目指して欲しいです。
- 子供が安全に通学できる環境（道路、歩道を）。就学児童（15歳まで）の扶養家庭は税金無料にする、あるいは塾やスポーツクラブは無料化する。糸満市内の無料の通学バスを各学校で実施する。各学校（小中）施設の教室環境（エアコン設置、電子黒板）を平等する。
- 同じ糸満市でも場所によって公園や街灯や道路がきれいにされていたり長年放っておかれていたり違うのはどうしてか、一年毎でも良いので少しずつ改善してほしい。
- 独居老人が気軽に飲食（安い施設）が出来る施設があったら良いと思います。現在老人のいこいの場病院内のように思います。今後も住み良糸満市をお願いします。

- 住宅もいいのですが、学校道の草刈をぜひお願いしたい。字江城から真壁へ。
- 地域デイサービスの理解・開設していたが、休んでしまうところがある、なぜか市民に共通理解が必要、自治会の協力が必要である。設置者の努力、地域ボランティアの養成？市民に奉仕の心を・・・地方公務員退職者の協力等を推奨することなど・ボランティア活動は青少年頃から始めると入りやすいと思います。・ボーイスカウト・ガールスカウト等の活動育成も大事だと思う。・小中学生でも、校外でのボランティア活動を育てるような活動を見つける。奉仕の心を育てる良い機会だと考えます。
- 文化は振興センターを巨額の交付金を投入し作るのも結構だと思いますが、維持・管理の事まできちんと考えておられますか？既存の施設ですら、維持管理出来ていないのに、市民として非常に不安を感じます。市民住宅については、不足している場所があると思うので仕方ありませんが、新しく作るばかりでなく既存の物を上手に活かす事をもっと考えて頂きたいです。
- 空家も然りです。当市にもDV被害者や緊急時に利用できる施設がありません。空き家を有効活用する事は出来ないでしょうか？
- 高齢者になっても、安心して生活（入所）出来る、施設があれば安心かな？買物が出来なくなるのが（運転）心配です。私達は現在老夫婦です。これから先、子供達には迷惑かけたくない。夫婦で入居（生活可能）できる。あるいは集団生活でも、かまわないので、アパートを希望します。私の一番の不安です（老後）。

【その他】

- 糸満市民に恩恵を肌で感じられる様。糸満と言えば、ローターリー、漁港、農業、アンマー他。心豊かな生活環境希望、市は税込以外の収入の算段は？
- 今現在、世帯主である主人が病気の為3年になりますが、入院しています。今、アパートに住んでいますが、預金をくずしての支払いでやっています。これから先、生活をしていくのかとても不安でなりません。できれば、家賃の負担が少ない所に引越を考えています。
- バスが89番しかなく不便です。国場行きなどがあると便利です。89番で国際通りを通っておもろまち行があるとバス利用が増えます。
- 土地代が高く持家が望めない。

- バスの本数増加、ミニバスの導入など。通勤、通学の足を充実させてほしい。
- 県営住宅及び市営住宅は一度入居すると子や孫引き続き入って他の人がなかなか入れないという不公平な状況はぜひ改善してほしい。入りたくても入れない人達が沢山います。税金を片寄った人に使って欲しくないです。しっかり調査して抽選をきちんとやって公平に利用できるよう強く望みます。建て替えてもまた同じ人が入りこんな不公平なことはありません。自分で修善して使っているんですよ。税金を平等に使えるようにして下さい。お願いします。
- 市営住宅を建設する目的は、低所得者等の住環境の確得だと認識しています。その目的に添った計画実施を要望します。
- 本質がつかめない設問ばかりです。一定の収入は有るが、実質の生活が苦しい人への補助がないです。市民税を支払っても無駄な気がします。南風原町に引っ越した方が良いかと考えています。
- 行政側の職員は上から目線とかではなく地域の人と話し合いコミュニケーション能力をしっかりと持てるようにやってほしい。
- 買い物や病院等に行く時交通が困る。各地域を通バス等がほしい。
- 設問の中に地区発展の為に農村地区にの市営住宅への建設のこうもくもあってほしかった、農村地区、都市地区の差のない、若者の農村地区への定住への為と、地域の文化伝統へに考えてほしい。

